

科目名	JAZZ FUNK1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋 英佳 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZ FUNKダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzFunkダンスの内容。クラシックバレエやFunkの基礎も取り入れながら、JAZZFunkで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に着けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	フロアでセクシーに表現。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	フォーメーションで踊る①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	フォーメーションで踊る②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	魅せ方、表現の練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ FUNK2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺裕子 永嶋 英佳 久次亜希子 福丸朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZ FUNKダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzFunkダンスの内容。JAZZFunkで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーション(胸)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	アイソレーション(肩)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	アイソレーション(首)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	フロアでセクシーに表現①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	フロアでセクシーに表現②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	フォーメーションで踊る①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	フォーメーションで踊る②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	フリーでのダンス強化①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	フリーでのダンス強化②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシエネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シエネ→ビルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシエネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シエネ→ビルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	プリエなどバレエの基礎	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	振り付けを覚える。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	振り付けを正確に踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	表情もつけて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	何回踊っても間違えない。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	スローな動きで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	手足がしっかり伸びるようにする。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	感情をこめて踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	少人数に分けて大きく踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	アップテンポのダンス	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	グローヴとアイソレーションを大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】		シューズ		

科目名	JAZZB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	セクシーに歩く練習	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	軽いコンビネーションのクロスフロア	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	腰をしっかり動かせるように	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	可愛い歩き方	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	笑顔で歩く	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	アイドルらしい振り付け	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	表情を大切に。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	フリーでのダンス強化	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】		シューズ		

科目名	JAZZC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズダンス基礎の確認、徹底 ・ダンスを通して表現の実践 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①正しい姿勢を理解し、実践できる。 ②基礎の大切さを理解している。 ③振りを覚え、曲の意味に沿って表現しながら踊ることが出来る。 					
評価方法と 基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの説明、ピルコット・コンビネーション	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	ウォームアップの解説 ①姿勢・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ウォームアップの解説 ②パラレルの重要性・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ウォームアップの解説 ③ルルベ・コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	プリエの説明、実践	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	タンデュ・デガジェの説明	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	体重移動 タンデュ→タンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	片足になる パッセ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	体重移動 タンデュ→パッセ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	ロンデジャンプ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	ロンデジャンプ→ピケ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	ピルエットダブルを安定させる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習		テストの復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
15		講義・演習	総復習	テストの復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 時々ゴムやボールを使用				

科目名	バレエA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知 子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習 内容	バーを使つての基礎練習、バーレッスンとセンターレッスン。					
到達目標	バレエの基礎練習を通して、ダンス全般に通じ、役立つ、強い体幹、美しい姿勢、身体のポジションを手に入れる。基本的な動きを反復練習することで、飽きずに継続する力を身につける。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前後後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通過してロンドゥジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使つて、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使つて、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使つて、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知 子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習 内容	バーを使つての基礎練習、バーレッスンとセンターレッスン。					
到達目標	バレエの基礎練習を通して、ダンス全般に通じ、役立つ、強い体幹、美しい姿勢、身体のポジションを手に入れる。基本的な動きを反復練習することで、飽きずに継続する力を身につける。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前後後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通過してロンドゥジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャップの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャップの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエB-1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年						
授業の学習内容	エクササイズ、コンビネーション、クールダウン 全て呼吸を使って身体を動かし踊るための身体を作る。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸と連動して動けるようになる。 ・筋力と柔軟性を上げる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	呼吸を意識する	授業前のストレッチと筋力トレーニング			
2		講義・演習	身体のアライメントを理解する	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習			
3		講義・演習	エクササイズ1つ1つ、どこを使うかを考えて動かす。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
4		講義・演習	筋感覚だけに集中(形に捉われない)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
5		講義・演習	筋力と柔軟性を同時に意識する。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
6		講義・演習	座位、ストレッチ(股関節周り意識)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
7		講義・演習	体幹トレーニング(呼吸を伴う筋トレの中で)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
8		講義・演習	アイソレーション(流されず部分部分を丁寧に)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
9		講義・演習	ジャンプ足上げ(効果的に行えるようにする)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
10		講義・演習	ターン(重心と軸を探る)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習			
11		講義・演習	総括(エクササイズも振りも全て呼吸)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
12		講義・演習	試験(見られている意識の中で発揮できる)	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習			
14		講義・演習	試験	実施			
15		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習・課題出し			
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエB-2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年						
授業の学習内 容	ストレッチ、パー、センター 常に呼吸を意識し、体重を感じるようにする。						
到達目標	バレエを通して、重心と軸を感じられるようになり、他のダンスにも応用できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	呼吸を意識しストレッチから	授業前のストレッチと筋カトレーニング			
2		講義・演習	アライメントを理解し、立ち方を学ぶ。	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習			
3		講義・演習	プリエ(関節を固めない)	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
4		講義・演習	プリエタンデュ(体重を感じることで重心を知る)	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
5		講義・演習	体重移動を身につける。	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
6		講義・演習	正しいターンアウト	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
7		講義・演習	ストレッチ、パー、センターの流れを学ぶ	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
8		講義・演習	方向(8つの方向)を学ぶ。	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
9		講義・演習	ポールドブラ(基本のアームズ)	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
10		講義・演習	エポールマン	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習			
11		講義・演習	エポールマン②	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
12		講義・演習	身体を総括的に意識し動かせるように。	授業前のストレッチと筋カトレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。			
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習			
14		講義・演習	試験	実施			
15		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。	復習・課題出し			
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習内 容	・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。					
到達目標	・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前横後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通過してロンドウジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 下島功佐 秋山かおる 瀬尾和香 橋本佐知子 吉村真弓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バレエ講師歴18年/23年/23年/26年/36年					
授業の学習内 容	・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。					
到達目標	・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング
2		講義・演習	足のポジション、手のポジションを正しく作る。覚える。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
3		講義・演習	足1～5番のポジションでのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
4		講義・演習	足1～5番でのプリエ。1番5番からのタンジュ、ジュテ。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
5		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
6		講義・演習	足の指の使い方。各ポジションでのルルベの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
7		講義・演習	前後後ろのタンジュを確認し、そのポジションを通してロンドゥジャンプする練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
8		講義・演習	バーを使って、スス、パッセの作り方を学ぶ。スス、パッセでバランスをとる。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
9		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
10		講義・演習	バーを使って、シャンジュマン、エシャッペの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習
11		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
12		講義・演習	タンジュ、ジュテを理解した上で、グランバットマンの練習。	授業前のストレッチと筋力トレーニング。前回の授業で学んだバレエ用語、ステップ等の復習。
13		講義・演習	試験課題振付	復習
14		講義・演習	試験	実施
15		講義・演習	試験の反省と復習。	復習・課題出し
準備学習 時間外学習		クラシック音楽に触れる機会を作る。クラシックバレエの鑑賞。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング						
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP B-1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	HIPHOP基礎		各自授業内容を復習		
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)		各自授業内容を復習		
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)		各自授業内容を復習		
4		講義・演習	フリーで踊ろう		各自授業内容を復習		
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう		各自授業内容を復習		
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう		各自授業内容を復習		
7		講義・演習	ここまでのまとめ		各自授業内容を復習		
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用		各自授業内容を復習		
9		講義・演習	模擬バトル		各自授業内容を復習		
10		講義・演習	試験の課題を提示		各自授業内容を復習		
11		講義・演習	試験に向けての指導		各自授業内容を復習		
12		講義・演習	プレ試験		各自授業内容を復習		
13		講義・演習	試験		各自授業内容を復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP B-2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	HIPHOP基礎		各自授業内容を復習		
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)		各自授業内容を復習		
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)		各自授業内容を復習		
4		講義・演習	フリーで踊ろう		各自授業内容を復習		
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう		各自授業内容を復習		
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう		各自授業内容を復習		
7		講義・演習	ここまでのまとめ		各自授業内容を復習		
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用		各自授業内容を復習		
9		講義・演習	模擬バトル		各自授業内容を復習		
10		講義・演習	試験の課題を提示		各自授業内容を復習		
11		講義・演習	試験に向けての指導		各自授業内容を復習		
12		講義・演習	プレ試験		各自授業内容を復習		
13		講義・演習	試験		各自授業内容を復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。				
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP C-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP C-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田中英 輔相沢 圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HIPHOP基礎	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HIPHOP応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HIPHOP応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HIPHOP基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle A-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめて
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle A-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	後期試験	後期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめて
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle B-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめて
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	Freestyle B-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩崎浩太郎 木本雄
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ミュージカル・ライブ等バックダンサー、Freestyle講師歴10年/12年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	後期試験	後期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ	理解できていないこと、質問等をまとめて
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	コンテンポラリー1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス10年以上・教師・振付家・ダンサー 経験年数30年						
授業の学習 内容	体の中心(軸)と体幹の筋肉を理解してアカデミックな動きに繋げる。 (ダンスで大事なものは正しい姿勢を理解すればケガの防止になります。)						
到達目標	体幹軸を習得する事で、アカデミックな動きに対応出来、正しい骨と筋肉の使い方を理解できる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART2ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニク・ジャンプ①	ストレッチ等
2		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
3		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
4		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
5		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
6		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
7		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
8		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
9		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
10		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
11		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
12		講義・演習	成長のプロセス講義(日程変更)	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンテンポラリー2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス10年以上・教師・振付家・ダンサー 経験年数30年						
授業の学習 内容	コンテンポラリーダンスの基礎(ポジション、ダンスクラシック)の理解。姿勢、筋肉の使い方を学ぶ。(コンテンポラリーダンスは、高い柔軟性と強い体幹が大切です。言い換えると、どんな動きやダンスにも通用する身体が必要という事になります。最初は、ポジション、ムーブメントなど分からない事ばかりですが、継続することでダンサーの身体になっていきます。)						
到達目標	初歩的な身体構造の理解。正しい姿勢、筋肉の使い方、動き方の習得。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART1ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニック・ジャンプ①	ストレッチ等
2		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
3		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
4		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
5		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
6		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
7		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
8		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
9		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
10		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
11		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
12		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑫、フロアーテクニック・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	身体の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4		講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5		講義・演習	バレエポジションを覚える	授業内容を自主練習
6		講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なターンの説明	授業内容を自主練習
8		講義・演習	ターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9		講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10		講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12		講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13		講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
10		講義・演習	舞台などでの魅せ方	授業内容を自主練習
11		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
12		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
13		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
14		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習			常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	身体の使い方を学ぶ	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アームスの正しいポジションを学ぶ	授業内容を自主練習
4		講義・演習	ストレッチのやり方を学ぶ	授業内容を自主練習
5		講義・演習	バレエポジションを覚える	授業内容を自主練習
6		講義・演習	身体の軸の作り方を学ぶ	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なターンの説明	授業内容を自主練習
8		講義・演習	ターンをきれいに回る	授業内容を自主練習
9		講義・演習	様々なジャンプの説明	授業内容を自主練習
10		講義・演習	ジャンプを正しく飛ぶ	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプの組み合わせ	授業内容を自主練習
12		講義・演習	クロスフロアを行う	授業内容を自主練習
13		講義・演習	今までの授業内容のテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーションを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
10		講義・演習	舞台などでの魅せ方	授業内容を自主練習
11		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
12		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
13		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
14		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。 振り付けを行いカウントで覚えて、その後音楽で踊る。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。 オーディション合格に向けて振り覚えのスピードを上げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	覚えた振りで表現の練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振りの正しいポジションを確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	新しい振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	それぞれの個性をいかして踊る	授業内容を自主練習
6		講義・演習	それぞれの苦手な所を練習	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なパターンの振りを覚える	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りで全体的に緩急をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	振りの中でのテクニックを確認	授業内容を自主練習
10		講義・演習	新たな振り付けを覚える	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプのクオリティー強化	授業内容を自主練習
12		講義・演習	自分にしかできない表現力を考える	授業内容を自主練習
13		講義・演習	新しい振りでテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークC-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。						
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。オーディション合格を目標とする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
2		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
8		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
9		講義・演習	オーディションなどでの魅せ方	授業内容を自主練習
10		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
11		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
12		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
13		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークD-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習 内容	クラシックバレエを基礎としたアイソレーションを繰り返し行い、基礎を身につける。 身体の柔軟性を上げるためのストレッチ。 ターン、ジャンプなどの基本的なテクニック向上のためのクロスフロア。 振り付けを行いカウントで覚えて、その後音楽で踊る。						
到達目標	基礎練習の積み重ねによって、しっかりとしたダンス能力を身につける。 プロの世界でも通用するような基礎となるダンススキル習得を目指す。 オーディション合格に向けて振り覚えのスピードを上げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
2		講義・演習	覚えた振りで表現の練習	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振りの正しいポジションを確認	授業内容を自主練習
4		講義・演習	新しい振り付けを覚える	授業内容を自主練習
5		講義・演習	それぞれの個性をいかして踊る	授業内容を自主練習
6		講義・演習	それぞれの苦手な所を練習	授業内容を自主練習
7		講義・演習	様々なパターンの振りを覚える	授業内容を自主練習
8		講義・演習	振りで全体的に緩急をつける	授業内容を自主練習
9		講義・演習	振りの中でのテクニックを確認	授業内容を自主練習
10		講義・演習	新たな振り付けを覚える	授業内容を自主練習
11		講義・演習	ターンとジャンプのクオリティー強化	授業内容を自主練習
12		講義・演習	自分にしかできない表現力を考える	授業内容を自主練習
13		講義・演習	新しい振りでテストを行う	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークD-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 竹内ゆかり 南山光徳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年					
授業の学習 内容	前期で行ったテクニックの練習を引き続き行う。 振りうつしをカウントで行い、振り覚えのスピードを上げる練習後、 音楽に合わせて踊る。					
到達目標	リズムをしっかりと感じ、個性豊かな創造性を身につける。 プロの世界でも通用するようなダンススキルを習得できることを 目的とする。オーディション合格を目標とする。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	苦手なテクニックを自覚し練習	授業内容を自主練習
2		講義・演習	ターン、ジャンプなど確認	授業内容を自主練習
3		講義・演習	振り付けを覚える	授業内容を自主練習
4		講義・演習	振りの中でのテクニックの応用	授業内容を自主練習
5		講義・演習	振りの中での表現力の向上	授業内容を自主練習
6		講義・演習	振り覚えのスピードを上げる	授業内容を自主練習
7		講義・演習	振りの中での表情をつける	授業内容を自主練習
8		講義・演習	より高度な振りを覚える	授業内容を自主練習
9		講義・演習	オーディションなどでの魅せ方	授業内容を自主練習
10		講義・演習	テクニックの向上練習	授業内容を自主練習
11		講義・演習	集中力の作り方	授業内容を自主練習
12		講義・演習	オーディションでのメンタル	授業内容を自主練習
13		講義・演習	長めの振りでテスト	授業内容を自主練習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		常に自分が目指すための舞台観劇をする。ネットなどでのオーディション情報をチェックする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JAZZ HIPHOP 1		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス歴10年以上、ダンス講師歴10年以上							
授業の学習内容	自分と向き合い、短所と長所を知り個性を伸ばす。							
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	ストレッチへの理解①			次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習	ストレッチへの理解② 応用			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習	筋力トレーニングへの理解①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習	筋力トレーニングへの理解② 応用			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす② 応用			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	表情をつけて表現する①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	表情をつけて表現する② 応用			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	少人数に分け、さらに自分と向き合う。			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	テスト対策①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	課題出し①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	テスト対策②			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	課題出し②			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	前期の復習①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
15		講義・演習	前期の復習②			前期の復習		
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。					
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	JAZZ HIPHOP 2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス歴10年以上、ダンス講師歴10年以上							
授業の学習内容	対応力、個性などを発揮できるように							
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	ストレッチへの理解①			次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習	ストレッチへの理解② 応用			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習	筋力トレーニングへの理解①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習	筋力トレーニングへの理解② 応用			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす② 応用			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	表情をつけて表現する①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	表情をつけて表現する② 応用			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	少人数に分け、さらに自分と向き合う。			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	テスト対策①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	課題出し①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	テスト対策②			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	課題出し②			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	前期の復習①			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
15		講義・演習	前期の復習②			前期の復習		
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。					
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	ダンス&ヴォーカルA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎 浩 太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バックダンサー歴10年以上、ダンス&ヴォーカル歴10年以上					
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンス&ヴォーカルA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎 浩 太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バックダンサー歴10年以上、ダンス&ヴォーカル歴10年以上					
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		講義・演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		講義・演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンス&ヴォーカルB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎 浩 太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バックダンサー歴10年以上、ダンス&ヴォーカル歴10年以上					
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンス&ヴォーカルB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岩崎 浩 太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	バックダンサー歴10年以上、ダンス&ヴォーカル歴10年以上					
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。		
2		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
3		講義・演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
4		講義・演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
5		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。		
6		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。		
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。		
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。		
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。		
14		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成		
15		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成		
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	TAP1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小勝久生
		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二						
教員の略歴	タップダンス歴・50年						
授業の学習内容	舞台で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかり取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得 		次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
3		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
4		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
7		講義・演習	イーブンタイムステップ		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	ローダウン①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	ローダウン②		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	ローダウン③		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	ローダウン④		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	プルバックの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	テスト課題		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
15		講義・演習	テスト		前期の復習		
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	TAP2		必修 選択	選択	年次	1	担当教員:小勝久生
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	タップダンス歴・50年						
授業の学習内容	舞台で活躍することを目標とする者にとって必要不可欠であるタップダンス。 近年特に人気のミュージカルでも、テーマパークでも取り入れられるため基礎をしっかり取得する。 授業を踏まえ、リズム感も養う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッフル、スラップ、スタンプ等基礎ステップの取得 ・イーブン、スウィングのシムシャムを覚える。 ・タイムステップ、ローダウンを覚える 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール、ヒール使い分け ・シャッフル、スラップ取得 ・タイムステップ、シムシャム取得 		次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	クランプロールを用いて ターンステップの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習			前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	イーブンタイムステップ		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	ローダウン①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	ローダウン②		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	ローダウン③		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	ローダウン④		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	ローダウン全体をつなげる。		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	プルバックの練習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	テスト課題		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
15		講義・演習	テスト		後期の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	ヴォイストレーニングA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングA-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	前期中間Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリジナル体幹理論による姿勢と発声	コメントシート記入
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	コメントシート記入
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	コメントシート記入
4		講義・演習	音域チェックと発声	コメントシート記入
5		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
6		講義・演習	マイキング	コメントシート記入
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	コメントシート記入
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	コメントシート記入
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
13		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	コメントシート記入
14		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
15		講義・演習	後期Dance&Singテスト	コメントシート記入
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングD-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながらボーカルの大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時に声優アーティストとしての心の育成にも努めることで、 「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけることができるようになる。 学んだ事を授業以外でも自身で反復練習を実施できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	後期に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

科目名	ヴォイストレーニングD-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながらボーカルの大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時に声優アーティストとしての心の育成にも努めることで、 「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけることができるようになる。 学んだ事を授業以外でも自身で反復練習を実施できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	来年に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ヴォイストレーニングE-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	元劇団四季俳優であり、「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	ミュージカル俳優としての、体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながら、ミュージカル歌唱の大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時にミュージカル俳優としての心の育成にも努めることで、「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけられるようになる。 学んだ事を、授業以外でも反復練習を実施できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	後期に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ヴォイストレーニングE-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	元劇団四季俳優であり、「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	ミュージカル俳優としての、体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。 個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながら、ミュージカル歌唱の大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。 じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時にミュージカル俳優としての心の育成にも努めることで、「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけられるようになる。 学んだ事を、授業以外でも反復練習を実施できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス、課題曲ディスカッション、ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	歌唱テスト 発声・音程・リズム・表現	来年に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	クリエイション1(ダンス)		必修 選択	選択	年次	1	担当教員	日置望 喜 西野恭 平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト歴18年/7年							
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかりと守れる人材育成。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成			筆記用具		
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成			筆記用具		
3		講義・演習	6/8,9の学祭に向けて ユニット作り、自分達で 作品を作り、毎週講師の HIYOがディレクションをし、 手直しを行う。			踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習						
5		講義・演習						
6		講義・演習						
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに 動きが無いので、 トレーニング、様々なジャンル での基礎作り、場当たり方法 などレッスンする。					
8		講義・演習						
9		講義・演習						
10		講義・演習						
11		講義・演習						
12		講義・演習	ここからWe are作品作り に向けて始動					
13		講義・演習						
14		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は 臨機応変に変える場合があります。					
15		講義・演習						
準備学習 時間外学習		作品作り、修正、チーム作り						
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	クリエイション2(ダンス)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 日置望喜 西野恭平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)	
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト歴18年/7年					
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうしで作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかり守れる人材育成。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点					
授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成		筆記用具	
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成		筆記用具	
3		講義・演習	6/8,9の学祭に向けて ユニット作り、自分達で 作品を作り、毎週講師の HIYOがディレクションをし、 手直しを行う。		踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意	
4		講義・演習				
5		講義・演習				
6		講義・演習				
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに 動きが無いので、 トレーニング、様々なジャンル での基礎作り、場当たり方法 などレッスンする。			
8		講義・演習				
9		講義・演習				
10		講義・演習				
11		講義・演習				
12		講義・演習	ここからWe are作品作り に向けて始動			
13		講義・演習				
14		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は 臨機応変に変える場合があります。			
15		講義・演習				
準備学習 時間外学習			作品作り、修正、チーム作り			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	アクロバット1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス歴10年以上、ダンス講師歴10年以上						
授業の学習 内容	特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 マットを利用して基礎的なマット運動から始めて徐々に高難度のタンプリング系の技の練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技 クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	前方転回のバリエーションを習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	前方転回のバリエーションを習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	前方転回、側宙の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	前方転回、側宙の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	基礎練習、前方転回練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		講義・演習	前期のまとめ、バク転の練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習		基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	井上 守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス歴10年以上、ダンス講師歴10年以上						
授業の学習 内容	特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 基礎マット運動、タンブリング系に加え、カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技 クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習		基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 鄭 壽美
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	K-POPヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。					
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。		
2		講義・演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
3		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
4		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
5		講義・演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。		
6		講義・演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。		
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。		
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。		
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。		
14		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成		
15		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成		
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	K-POP2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 鄭 壽美
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	Korean Music ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリストにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。					
到達目標	K-POP音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの基礎と活用方法を習得し実践できるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。		
2		講義・演習	K-POP歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
3		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
4		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
5		講義・演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。		
6		講義・演習	K-POPパフォーマンスの緩急を表現できる	K-POPパフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。		
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。		
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。		
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。		
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。		
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。		
14		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成		
15		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成		
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック			
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	BREAKIN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石田創
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス歴10年以上、ダンス講師歴10年以上						
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		講義・演習	基本的なステップムーブの習得・実践	各自授業内容を復習
3		講義・演習	チェアー・スピンの習得・実践	各自授業内容を復習
4		講義・演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		講義・演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		講義・演習	フリーズの種類を習得・実践	各自授業内容を復習
9		講義・演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		講義・演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		講義・演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りといンプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石田創
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンス歴10年以上、ダンス講師歴10年以上						
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニクを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニクを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		講義・演習	基本的なステップムーブの習得・実践	各自授業内容を復習
3		講義・演習	チェアー・スピンの習得・実践	各自授業内容を復習
4		講義・演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		講義・演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		講義・演習	フリーズの種類を習得・実践	各自授業内容を復習
9		講義・演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		講義・演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステップイン)の実践	各自授業内容を復習
11		講義・演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野恭平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト歴7年						
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステク ニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	タイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティッキングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	長付けられた振りとインプロが実践でき	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	西野恭平
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ダンサー・ヴォーカリスト歴7年						
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステク ニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	タイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティッキングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	長付けられた振りとインプロが実践でき	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池田 卓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	世界最高峰のストリートダンスコンテスト「JAPAN DELIGHT」決勝出場。その他バトル、コンテストなど優勝						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を正しく理解し、HIP HOPなどにも共通するリズムやアームス、ボディコントロールなどを使いこなせるようにする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HOUSEのベーシックな動き(体の止め方)を習得すること ・HOUSE特有のスピード感、タメ、止めを体現すること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎①(ベーシックムーブ)	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE基礎②(ベーシックムーブ応用)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	リズム&アイソレーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	リズム&ベーシックムーブ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	コンビネーション	各自授業内容を復習
6		講義・演習	”遊び”を混ぜる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フロアを混ぜる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アクロバットを混ぜる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHOUSEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池田 卓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAPAN DANCE DELIGHT決勝進出など、全国のバトルやコンテストで優勝など受賞多数						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々な曲調に対応したHOUSEができるようになること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演劇ワークショップA-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	演劇歴10年以上						
授業の学習 内容	様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	演技の基礎である、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つ取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	俳優と演技について思考する	
2		講義・演習	実際に演技に触れてみる	
3		講義・演習	実技発表を通して、演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	演技をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	台本に触れる	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	発表を通して役作りと演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	台本をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	心を動かす	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	他者と演技するということ	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	ここまででやったことを踏まえた演技発表	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	演技発表してのフィードバックからの、さらなる研鑽	授業内の発表に向けた自主稽古
13		講義・演習	発表 進級公演(後期)課題の発表と方向性について	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

科目名	演劇ワークショップ 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	演劇歴10年以上						
授業の学習 内容	進級公演課題を通し、自分のキャラクターを知る。 様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。 以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	進級公演の課題を通し、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つの取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	台本をもらったら	授業内の発表に向けた自主稽古
2		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
3		講義・演習	相手役との芝居とは	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	全体の流れを掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	ラストシーンから、自分の役割を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	通し稽古から全体像を掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	抜き稽古で、体に芝居をなじませる	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	等身大の感情を超える	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	お客様に魅せる演技とは？	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	発表を終えてのフィードバック	授業内の発表に向けた自主稽古
15		講義・演習	自分なりの課題をアウトプットすることと、来年に活かすための方法	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

科目名	演劇ワークショップ B-1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	演劇歴10年以上						
授業の学習 内容	様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	演技の基礎である、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つ取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	俳優と演技について思考する	
2		講義・演習	実際に演技に触れてみる	
3		講義・演習	実技発表を通して、演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	演技をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	台本に触れる	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	発表を通して役作りと演技を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	台本をブラッシュアップする	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	心を動かす	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	他者と演技するという事	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	ここまででやったことを踏まえた演技発表	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	演技発表してのフィードバックからの、さらなる研鑽	授業内の発表に向けた自主稽古
13		講義・演習	発表 進級公演(後期)課題の発表と方向性について	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

科目名	演劇ワークショップ B-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	演劇歴10年以上						
授業の学習 内容	進級公演課題を通し、自分のキャラクターを知る。 様々に変化する現在の芸能界における俳優としての立ち振る舞いと、必要とされる「演技力」を知る。 以上を踏まえ、あらゆる現場でのびのびと表現と演技ができるようになるための基礎力をつける。						
到達目標	進級公演の課題を通し、「自分自身を知ること」「他者の気持ちを慮ること」「自らの『心、声、体』を自在に使いこなすこと」この3つ取っ掛かりを掴めるようになる。 演技に興味を持ち、幅広いジャンルの演技や映画やアニメなどに自主的に触れられるようになる。 身の回りの心動く出来事にワクワクできる柔らかい感性を持てるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	台本をもらったら	授業内の発表に向けた自主稽古
2		講義・演習	役作りとは？	授業内の発表に向けた自主稽古
3		講義・演習	相手役との芝居とは	授業内の発表に向けた自主稽古
4		講義・演習	全体の流れを掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
5		講義・演習	ラストシーンから、自分の役割を思考する	授業内の発表に向けた自主稽古
6		講義・演習	通し稽古から全体像を掴む	授業内の発表に向けた自主稽古
7		講義・演習	抜き稽古で、体に芝居をなじませる	授業内の発表に向けた自主稽古
8		講義・演習	等身大の感情を超える	授業内の発表に向けた自主稽古
9		講義・演習	お客様に魅せる演技とは？	授業内の発表に向けた自主稽古
10		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
11		講義・演習	発表に向けての詰め稽古	授業内の発表に向けた自主稽古
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	発表を終えてのフィードバック	授業内の発表に向けた自主稽古
15		講義・演習	自分なりの課題をアウトプットすることと、来年に活かすための方法	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・ノート・筆記用具				

科目名	発声滑舌1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練を行います。 歌舞伎の台本である「外郎売」を通じて、発声・滑舌の必要性和、感情解放のコツをつかみます。 繰り返し演習を行い、また、クラスメイトの課題も自身のものにてできる人材を育てます。						
到達目標	声優(俳優)の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一步を踏み出せるようになる。 他人の良いところを盗み、悪いところを自身の技術向上に役立てるように反映させられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	声優・俳優という職業について 授業内容についての説明・自己紹介	腹式呼吸の練習
2		講義・演習	腹式呼吸① 自己解放とは 外郎売りについて歴史から学ぶ	腹式呼吸の練習
3		講義・演習	腹式呼吸② 自己解放ワーク 外郎売り①イントネーションを確認する	腹式呼吸の練習
4		講義・演習	腹式呼吸③ 自己解放ワーク 外郎売り②イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
5		講義・演習	腹式呼吸④ 自己解放ワーク 外郎売り③イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
6		講義・演習	腹式呼吸⑤ 自己解放ワーク 外郎売り④イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
7		講義・演習	腹式呼吸⑥ 自己解放ワーク 外郎売り⑤イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
8		講義・演習	腹式呼吸⑦ 自己解放ワーク 外郎売り前半部分を通して演じる方法を学ぶ	腹式呼吸の暗記
9		講義・演習	腹式呼吸⑧ 自己解放ワーク 外郎売り後半部分を通して演じる方法を学ぶ	腹式呼吸の暗記
10		講義・演習	腹式呼吸⑨ 自己解放ワーク 外郎売り全体を通して演じ切る発声法を学ぶ	腹式呼吸を意識しながら外郎売を練習
11		講義・演習	外郎売り発表① 一人ひとり外郎売を演じる	腹式呼吸を意識しながら外郎売を練習
12		講義・演習	外郎売り発表② 一人ひとり外郎売を演じる	滑舌の苦手な箇所の練習
13		講義・演習	前週の反省点を振り返る 一人ひとりの課題を発見する	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	発声滑舌2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMIにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練。 絵本の朗読。一冊の絵本を14ブロックに分け、毎週1ブロックずつ練習。 前期で修得した、他人から技術を盗むことはそのままに、自身の発声・滑舌・表現のスキルを更に向上させていきます。						
到達目標	声優(俳優)の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一歩を踏み出せるようになる。 前期習得した発声・滑舌を活かし、表現力を習得できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	脚本解釈について これから課題となる絵本題材について説明	台本の読み込み
2		講義・演習	絵本の朗読① 14-1パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
3		講義・演習	絵本の朗読② 14-2パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
4		講義・演習	絵本の朗読③ 14-3パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
5		講義・演習	絵本の朗読④ 14-4パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
6		講義・演習	絵本の朗読⑤ 14-5パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
7		講義・演習	絵本の朗読⑥ 14-6パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
8		講義・演習	絵本の朗読⑦ 14-7パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
9		講義・演習	絵本の朗読⑧ 14-8パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
10		講義・演習	絵本の朗読⑨ 14-9～10パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
11		講義・演習	絵本の朗読⑩ 14-11～12パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	絵本の朗読 14-13～14パートを細かく説明・演習を行う	登場人物のイメージ作り
15		講義・演習	クラス内で全編披露を実施	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	声優基礎1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	声優に必要な心構えや考え方、マナー、演技の基礎を学ぶ。 2年生から実施されるアフレコ演習に向けて、台本の基礎知識と、キャラクターに応じた適切な表現を学ぶ。 感情を開放し、自己の先にある表現を身に着けるためのトレーニングを学ぶ。						
到達目標	「声優」という職業に必要な考え方、スキル、表現力を身に付ける。自分の声を知り、適切な役が演じられるようになる。 そのために必要な発声滑舌スキルを自身のものとして扱えるようになる。 声優に必要な「好感度の高い」対人コミュニケーション力とマナーを身につけ扱えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、自己PR	好きな声優がどのような作品・役を演じるかを知る
2		講義・演習	感情解放① 「恥ずかしさ」を乗り越える	感情解放ワークを日常的に取り入れてみる
3		講義・演習	感情解放② 人前で表現することを知る	感情解放ワークを日常的に取り入れてみる
4		講義・演習	感情解放③ 実体験を思いだし、表現する	感情解放ワークを日常的に取り入れてみる フリートークテーマについて考える
5		講義・演習	フリートーク① 初めてのフリートーク演習	フリートークテーマについて研究する
6		講義・演習	エチュード① 初めてのエチュード演習	即興で演じることを仲間たちと日常的に行ってみる
7		講義・演習	実演① 課題に対して表現を行う	次週に向けて、さらに表現を磨く
8		講義・演習	実演② ディレクション(演出)を受ける	ディレクションの意味を理解するため、研鑽を行う
9		講義・演習	フリートーク② テーマに応じたフリートーク	フリートークのコツをつかむ 好きな声優のトークショー動画を見て研鑽を行う
10		講義・演習	エチュード② テーマに応じたエチュード	共演者の表現を感じ、自分の立ち位置を鑑みる
11		講義・演習	台本読解、立体化① アフレコ台本の配布、読み方について	台本を読みこんでくる
12		講義・演習	台本読解、立体化② 立体化(声でリアルに表現ができる)ことを学ぶ	台本を読みこんでくる テスト課題の準備
13		講義・演習	フリートーク、実演、振り返り、総括	後期に向けた自身の課題と、「やりたいこと」「できること」の違いに気づく
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習		母音法の練習を実施する		
【使用教科書・教材・参考書】				
ノート、筆記用具				

科目名	声優基礎2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	声優に必要な心構えや考え方、マナー、演技の基礎を学ぶ。 2年生から実施されるアフレコ演習に向けて、台本の基礎知識と、キャラクターに応じた適切な表現を学ぶ。 感情を開放し、自己の先にある表現を身に着けるためのトレーニングを学ぶ。						
到達目標	「声優」という職業に必要な考え方、スキル、表現力を身に付ける。自分の声を知り、適切な役が演じられるようになる。 そのために必要な発声滑舌スキルを自身のスキルとして扱えるようになる。 声優に必要な「好感度の高い」対人コミュニケーション力とマナーを身につけ扱えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	フリートーク③ 後期の意気込み、最近あったことについて	前期からの自分の成長に気づく
2		講義・演習	台本読解、立体化③ 自分が不足している技術に気づく	不足を感じているところを磨く(発声・滑舌・キャラクター研究)
3		講義・演習	台本読解、立体化④ 自身にしか演じられない役に気づく	「やりたいこと」「できること」の違いに気づく
4		講義・演習	台本チェンジ 読解、立体化⑤キャラクター考察	キャラクターを考察し、先輩声優から研究する
5		講義・演習	台本読解、立体化⑥ ディレクションを踏まえた立体化	距離感を踏まえた表現の練習
6		講義・演習	台本読解、立体化⑦ 台本に書かれた内容を考察する	感情を踏まえた表現の練習
7		講義・演習	台本読解、立体化⑧ 心の距離感について	距離感、感情を踏まえた表現の練習
8		講義・演習	台本読解、立体化⑨ 演じるキャラクターの立ち位置について	キャラクターの個性を踏まえた表現の練習
9		講義・演習	台本読解、立体化⑩ キャストイングを受ける	ここまで実践してきたことを踏まえた表現の練習
10		講義・演習	フリートーク、実演① キャストイングを受け、消化する	キャストイングされた意味を考え、演じる
11		講義・演習	台本読解、立体化⑪ ディレクションの意味	ここまで実践してきたことを踏まえた表現の練習
12		講義・演習	フリートーク、実演② 客観的視点を持ち演じられるようになる	自分の中での事前準備を当たり前に行う
13		講義・演習	台本読解、立体化⑫ 振り返り、総括	ここまで実践してきたことを踏まえた表現の練習
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			母音法の練習を実施する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ノート、筆記用具				

科目名	ナレーション1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	子役、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ナレーションとは何かのレクチャー、生徒の自己紹介など	自身の読みたい作品を2つ、次回提出
2		講義・演習	教材と生徒が選んできた作品を統合し、ナレーション演習	自身が選択した作品の読みこみ
3		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける① 発声滑舌に気を付けて読む	自身が選択した作品の読みこみ
4		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける② 他人のダメ出しを自分のものにする	自身が選択した作品の読みこみ
5		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける③ 強調する箇所とその効果	自身が選択した作品の読みこみ
6		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける④ 起承転結の表現について	自身が選択した作品の読みこみ
7		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑤ 作品の前後間を考える	自身が選択した作品の読みこみ
8		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑥ 他人の原稿を聞き、良い点を自分に反映させる	自身が選択した作品の読みこみ
9		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑦ 改めて発声滑舌について気を付けて発表をする	自身が選択した作品の読みこみ
10		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑧ タイトルの重要性	自身が選択した作品の読みこみ
11		講義・演習	演習、アドバイスを各々の課題に向かい、録音テスト① マイクワークを学ぶ	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を聞いてみる
12		講義・演習	演習、アドバイスを各々の課題に向かい、録音テスト② マイクを通して演じられた自分のナレーションを客観的に判断	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を視点を上げ聞いてみる
13		講義・演習	テストを経て、各生徒にレクチャーとヒアリングを行う	後期に向けた、自身の課題に気づく
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	ナレーション2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	子役、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「架空のラジオCM」を作成するためエチュードを行う	題材についてヒアリング
2		講義・演習	エチュードを元に原稿作成① グループで話し合う	どんなCMにするか話し合う
3		講義・演習	エチュードを元に原稿作成② 話し合った内容の起承転結を考える	プロットを描く
4		講義・演習	エチュードを元に原稿作成③ 演じるキャラクターとナレーション部を考える	台本を完成させる
5		講義・演習	原稿を用いキャストイングし録音、演出指導。① 録音したCMを聞き、改良点を話し合う	収録音源を聞く
6		講義・演習	原稿を用いキャストイングし録音、演出指導。② 聞き手にわかりやすく伝わる表現について考える	収録音源を聞き、チームでディスカッション 収録に向けて準備をする
7		講義・演習	録音、編集① 編集されることを考えた収録について	収録に向けて準備をする
8		講義・演習	録音、編集② 短い時間で高いクオリティのCMを収録するためには	収録で感じたことを踏まえ、現在放送されているラ ジオCMを聞く
9		講義・演習	録音し編集した完成パッケージを視聴しヒアリング	聴いた音源に対して客観的に修正点を理解できる ようになる
10		講義・演習	映像に当てるナレーションの講義、題材紹介	映像とラジオCMの違いについて学び、実際 の映像を見、研究する
11		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習① あらゆるナレーションにチャレンジ	状況に応じたナレーションの違いに気づく
12		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習② 自分に適性の高いナレーションを知る	状況に応じたナレーションの違いに気づく
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	各ジャンルを演習しての総括、質疑応答など	自身の適正に気づき、2年生に向けチャレン ジしたいジャンルを絞り込む
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	舞台基礎1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 松尾真実
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	96年東京コミュニケーション専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴：18年					
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。					
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明	授業を振り返り、心構えをする 各事務所のプロフィールシートを観る
2		講義・演習	プロフィールシートの作り方	特になし
3		講義・演習	服装やメイクのアドバイス	プロフィールシート作成
4		講義・演習	宣材写真アドバイス	衣装・メイクの用意
5		講義・演習	自己PR30秒の作り方① 構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
6		講義・演習	自己PR30秒の作り方② 印象を持ってもらう構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
7		講義・演習	自己PR30秒の作り方③ 印象を持ってもらうパフォーマンスを考える	自己PRを作ってくる
8		講義・演習	自己PR60秒の作り方④ 考えたパフォーマンスのクオリティチェック	自己PRを作ってくる
9		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑤ 自分にできることを知る	自己PRを作ってくる
10		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑥ 自分ができるとやりたいことのギャップを知る	自己PRを作ってくる
11		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑦ やりたいことに向けた自己PRの構築	自己PRを作ってくる
12		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑧ 衣装を含めたトータル的な自己PRを考える	自己PRを作ってくる
13		講義・演習	テスト	テスト振り返り
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

科目名	舞台基礎2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 松尾真実
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	96年東京コミュニケーション専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴：18年					
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。					
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明	授業を振り返り、心構えをする 各事務所のプロフィールシートを観る
2		講義・演習	プロフィールシートの作り方	特になし
3		講義・演習	服装やメイクのアドバイス	プロフィールシート作成
4		講義・演習	宣材写真アドバイス	衣装・メイクの用意
5		講義・演習	自己PR30秒の作り方① 構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
6		講義・演習	自己PR30秒の作り方② 印象を持ってもらう構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
7		講義・演習	自己PR30秒の作り方③ 印象を持ってもらうパフォーマンスを考える	自己PRを作ってくる
8		講義・演習	自己PR60秒の作り方④ 考えたパフォーマンスのクオリティチェック	自己PRを作ってくる
9		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑤ 自分にできることを知る	自己PRを作ってくる
10		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑥ 自分ができるとやりたいことのギャップを知る	自己PRを作ってくる
11		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑦ やりたいことに向けた自己PRの構築	自己PRを作ってくる
12		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑧ 衣装を含めたトータル的な自己PRを考える	自己PRを作ってくる
13		講義・演習	テスト	テスト振り返り
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

科目名	J-POPゼミ 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	細井 康行
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	ヴォーカル歴10年以上						
授業の学習 内容	国内の音楽業界で活躍していく為には、J-POPの楽曲の分析やアレンジの能力が必要となる。本講義ではJ-POP音楽理論の応用とその特徴を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なJ-POP音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	J-POPの特徴を理解し実践する。	J-POPの特徴を理解し実演する
2		演習	J-POPの特徴を理解しアンサンブルで実践する。	J-POPの特徴を理解し実演する
3		演習	ネオアコースティックを用いて表現する。	ネオアコースティックを理解し実演する
4		演習	ネオアコースティックのアンサンブルを実践できる。	ネオアコースティックを理解し実演する
5		演習	90年代POPSを用いてアレンジを研究し実践できる。	90年代POPSを理解し実演する
6		演習	90年代POPSを用いてアンサンブルを学び実践できる。	90年代POPSを理解し実演する
7		演習	80年代ロックを用いてアレンジを研究し実践できる。	80年代ロックを理解し実演する
8		演習	80年代ロックを用いてアンサンブルを学び実践できる。	80年代ロックを理解し実演する
9		演習	70年代ロックを用いてアレンジを研究し実践できる。	70年代ロックを理解し実演する
10		演習	70年代ロックを用いてアンサンブルを学び実践できる。	70年代ロックを理解し実演する
11		演習	70年代のアレンジの特徴を学び実践できる。	70年代のアレンジの特徴を理解し実演する
12		演習	80年代のアレンジの特徴を学び実践できる。	80年代のアレンジの特徴を理解し実演する
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を理解し実演する
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを理解し実演する
15		演習	テスト	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			業界で活躍するJ-POPアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	J-POPゼミ 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	細井 康行
学科・コース	ダンス & アクターズ科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2		
教員の略歴	ヴォーカル歴10年以上						
授業の学習 内容	国内の音楽業界で活躍していく為には、J-POPの楽曲の分析やアレンジの能力が必要となる。本講義ではJ-POP音楽理論の応用とその特徴を学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なJ-POP音楽理論の応用と作曲方法をアンサンブルで習得し実践できる						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し説明ができる。	シンガーソングライターの名曲を調べて分析しレポート作成
2		演習	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。	シンガーソングライターの名曲を分析し演奏する。
3		演習	R&Bの名曲を分析し説明と演奏ができる。	R&Bの名曲を分析し実演する。
4		演習	R&Bの名曲を分析しアンサンブルで実演する。	R&Bの名曲を分析し実演する。
5		演習	エレクトリック楽器とのコラボを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのコラボを分析し実演する。
6		演習	エレクトリック楽器とのアンサンブルを研究し実践できる。	エレクトリック楽器とのアンサンブルを分析し実演する。
7		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
8		演習	同期音楽と生演奏との兼ね合いを理解し実践できる。	同期音楽と生演奏との兼ね合いを分析し実演する。
9		演習	J-POPバラードを分析し演奏できる。	J-POPバラードを分析し実演する。
10		演習	J-POPバラードをアンサンブルで演奏できる。	J-POPバラードをアンサンブルを分析し実演する。
11		演習	ヒット曲の特徴を理解しながら演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
12		演習	ヒット曲の特徴を理解しながらアンサンブル演奏できる。	ヒット曲の特徴を分析し実演する。
13		演習	シャッフルビートの邦楽を演奏する。	シャッフルビートの邦楽を分析し実演する。
14		演習	シャッフルビートの邦楽でソロをとる。	シャッフルビートの邦楽でソロを分析し実演する。
15		演習	テスト	1~14をまとめてレポート作成
準備学習 時間外学習			業界で活躍するJ-POPアレンジのスキル習得。準備復習研究時間として週4時間	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	楽器演奏 1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 田原 佑一郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	
教員の略歴	ヴォーカル・楽器歴10年以上					
授業の学習 内容	ミュージシャン、アーティストにとって必要不可欠な音階を学び、ソロアプローチ法やそのテクニックを学ぶ。					
到達目標	メジャースケールの5パターン、メジャーペンタトニックスケールの5パターン、ダイアトニックアルペジオの使い方、ソロ奏法ができるようになる。					
評価方法と基準	実技による採点:100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	メジャー・スケールのハーモニーを理解する。	メジャー・スケールのハーモニーの復習を行い実演する。
2		演習	1、3、5度のコード・トーンからスケールを始める方法を理解し実演できる。	1、3、5度のコード・トーンから始める方法の復習を行い実演する。
3		演習	メジャー・スケールパターン・トライアド・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン4のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
4		演習	1、3、5度のコード・トーンから始める方法を理解し実演できる。	1、3、5度のコード・トーンから始める方法の復習を行い実演する。
5		演習	メジャー・スケールパターン2のトライアド・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン2のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
6		演習	1、3、5度のコード・トーンから始める方法を理解し実演できる。	1、3、5度のコード・トーンから始める方法の復習を行い実演する。
7		演習	メジャー・スケールパターン1のトライアド・アルペジオの使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン1のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
8		演習	1、3、5度のコード・トーンから始める方法を理解し実演できる。	1、3、5度のコード・トーンから始める方法の復習を行い実演する。
9		演習	メジャー・スケールパターン3のトライアド・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン3のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
10		演習	メジャー・スケールパターン5のトライアド・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン5のトライアド・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
11		演習	メジャー、マイナー、ディミニッシュ、sus4、オーギュメントアルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー、マイナー、ディミニッシュ、sus4、オーギュメントアルペジオ使い方の復習を行い実演する。
12		演習	メジャー・スケールパターン4の7th・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン4の7th・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
13		演習	メジャー・スケールパターン2の7th・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン2の7th・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
14		演習	メジャー・スケールパターン1の7th・アルペジオ使い方を理解し実演できる。	メジャー・スケールパターン1の7th・アルペジオ使い方の復習を行い実演する。
15		演習	試験	試験
準備学習 時間外学習			各スケール練習、コードワーク復習を1日1時間を基本に繰り返す。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	楽器演奏2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田原 佑一 朗
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	ヴォーカル・楽器歴10年以上						
授業の学習 内容	アンサンブルコミュニケーション力と、インスト楽曲での各楽器の演奏バリエーションを学ぶ。						
到達目標	演奏するにあたって必要な読譜力を学び、様々なスタイルの楽曲を様々なキーで演奏する。						
評価方法と基準	実技による採点:100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	譜面の読み方、パート作りを行い書くことができる。	譜面の読み方、パート作りを行い書くし譜面作成する。
2		講義・演習	ブルースのコード進行の理解し演奏できる。	ブルースのコード進行の復習をし演奏を録音する。
3		講義・演習	パートのバリエーションとソロの応用を行い実演する。	パートのバリエーションとソロの応用を復習をし演奏を録音する。
4		講義・演習	ブルースのシャッフルスタイルの理解し12小節、8ビートブルースの演奏する。	ブルースのシャッフルスタイルの復習をし演奏を録音する。
5		講義・演習	ブルースのシャッフルスタイルの理解しブルースのシャッフルスタイル曲の演奏する。	ブルースのシャッフルスタイルの復習をし演奏を録音する。
6		講義・演習	8小節ブルース+ブリッジの理解しブルースのシャッフルスタイル曲の演奏する。	8小節ブルース+ブリッジ復習をし演奏を録音する。
7		講義・演習	8小節ブルース+ブリッジの理解し、ブルースのシャッフルスタイル曲の演奏する。	8小節ブルース+ブリッジ復習をし演奏を録音する。
8		講義・演習	シンコペーションと分数コードの理解しブルース+ブリッジ構成曲の演奏する。	シンコペーションと分数コードの復習をし演奏を録音する。
9		講義・演習	シンコペーションと分数コードの理解しシンコペーションと分数コード曲の演奏する。	シンコペーションと分数コードの理解をし復習をし演奏を録音する。
10		講義・演習	シンコペーションと分数コードを理解しシンコペーションと分数コード曲の演奏。	シンコペーションと分数コードを理解し復習をし演奏を録音する。
11		講義・演習	シンコペーション、分数コードの理解しロックスタイルのシンコペーションと分数コード曲の演奏する。	シンコペーション、分数コードの理解し復習をし演奏を録音する。
12		講義・演習	レゲエスタイルの理解とロックスタイルのシンコペーションと分数コード曲の演奏する。	レゲエスタイルの理解復習をし演奏を録音する。
13		講義・演習	レゲエスタイルの理解しレゲエスタイル曲の演奏する。	レゲエスタイルの理解復習をし演奏を録音する。
14		講義・演習	6/8拍子のロックスタイルの理解しKey=CMのレゲエスタイル曲の演奏する。	6/8拍子のロックスタイルの理解復習をし演奏を録音する。
15		講義・演習	テスト。	テスト。
準備学習 時間外学習			各スケール練習、コードワーク復習を1日1時間を基本に繰り返す。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	朗読2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	うまく朗読するだけでは他に変わりはありません。自分らしい感性と表現力を持てるようになる。						
到達目標	脚本解釈ができるようになる。台詞に感情を乗せられるようになる。						
評価方法と基準							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	外学習(学習課題) 準備学習 時間外
1		講義・演習	自己紹介の実施。人前で自分をアピールできる。	緊張を克服する
2		講義・演習	アクセント辞典の理解。アクセント記号を読解できるようになる。	アットランダムにアクセント辞典を開いて、初見で正しいアクセントを理解できるようにする。
3		講義・演習	アクセント辞典の理解。アクセント記号を見て正しい発音ができる。	アットランダムにアクセント辞典を開いて、初見で正しいアクセントを発音できるようにする。
4		講義・演習	朗読課題1。課題を正しいアクセントで読み上げる事ができる。	人前でもアクセントを間違わないようにする。
5		講義・演習	朗読課題2。。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
6		講義・演習	朗読課題3。台詞に感情を込める事ができる。	、感情を大きく出すことを注意する。アクセント確認
7		講義・演習	朗読課題4。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
8		講義・演習	朗読課題5。台詞に感情を込める事ができる	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
9		講義・演習	朗読課題6。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
10		講義・演習	朗読課題7。台詞に感情を込める事ができる。	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
11		講義・演習	朗読課題8。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
12		講義・演習	朗読課題9。台詞に感情を込める事ができる。	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
13		講義・演習	朗読発表会。クラス内で課題を通して読めるようになる。	アクセント、台詞の感情など総合的に台本を意識して読める
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習		前回までのアドバイスを踏まえ復習		
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典				

科目名	朗読2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	前期の朗読経験を活かし、新たな素材でさらに表現力を磨けるようになる。						
到達目標	自分らしい脚本解釈ができるようになる。台詞に感情を乗せ人を惹きつけられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数回数	日程日程	授業形態	学習内容	学習内容
			準備学習	時間外学習(学習課題)
			準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明。授業内容を理解できる。	配布台本を読み込み理解を深める。
2		講義・演習	朗読課題1 課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
3		講義・演習	朗読課題2。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
4		講義・演習	朗読課題3。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
5		講義・演習	朗読課題4。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
6		講義・演習	朗読課題5。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
7		講義・演習	朗読課題6。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
8		講義・演習	朗読課題7。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
9		講義・演習	朗読課題8。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
10		講義・演習	朗読課題9。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
11		講義・演習	朗読課題10。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
12		講義・演習	朗読課題11。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			前回までのアドバイスを踏まえ復習	
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典				

科目名	ジャズ A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。						
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に着けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	前週の続き。ピルエット練習。バットマン練習。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ステップの流れからのピルエット。バットマン。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ピルエット。バットマン。コンビネーション①。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ピルエット。バットマン。コンビネーション②。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション③	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	前期内容分思い出し。コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト実施。	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズ A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に着けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ピルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	前週の続き。ピルエット練習。バットマン練習。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ステップの流れからのピルエット。バットマン。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ピルエット。バットマン。コンビネーション①。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ピルエット。バットマン。コンビネーション②。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	ピルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション③	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	前期内容分思い出し。コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト実施。	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズ B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	各自授業内容を復習
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	各自授業内容を復習
3		講義・演習	プリエなどバレエの基礎	各自授業内容を復習
4		講義・演習	振り付けを覚える。	各自授業内容を復習
5		講義・演習	振り付けを正確に踊る。	各自授業内容を復習
6		講義・演習	表情もつけて踊る。	各自授業内容を復習
7		講義・演習	何回踊っても間違えない。	各自授業内容を復習
8		講義・演習	スローな動きで踊る。	各自授業内容を復習
9		講義・演習	手足がしっかり伸びるようにする。	各自授業内容を復習
10		講義・演習	感情をこめて踊る。	各自授業内容を復習
11		講義・演習	少人数に分けて大きく踊る。	各自授業内容を復習
12		講義・演習	アップテンポのダンス	各自授業内容を復習
13		講義・演習	グローヴとアイソレーションを大切に。	各自授業内容を復習
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	レポートの提出
15		講義・演習	総復習	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 シューズ				

科目名	ジャズ B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用					
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	各自授業内容を復習
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	各自授業内容を復習
3		講義・演習	セクシーに歩く練習	各自授業内容を復習
4		講義・演習	軽いコンビネーションのクロスフロア	各自授業内容を復習
5		講義・演習	腰をしっかり動かせるように	各自授業内容を復習
6		講義・演習	可愛い歩き方	各自授業内容を復習
7		講義・演習	笑顔で歩く	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アイドルらしい振り付け	各自授業内容を復習
9		講義・演習	表情を大切に。	各自授業内容を復習
10		講義・演習	フリーでのダンス強化	各自授業内容を復習
11		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	各自授業内容を復習
12		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	各自授業内容を復習
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	各自授業内容を復習
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	レポートの提出
15		講義・演習	総復習	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 シューズ				

科目名	ジャズ C-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズダンス基礎の確認、徹底 ・ダンスを通して表現の実践 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①正しい姿勢を理解し、実践できる。 ②基礎の大切さを理解している。 ③振りを覚え、曲の意味に沿って表現しながら踊ることが出来る。 					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの説明、ピルコット・コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップの解説 ①姿勢・コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ウォームアップの解説 ②パラレルの重要性・コンビネーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ウォームアップの解説 ③ルルベ・コンビネーション	各自授業内容を復習
5		講義・演習	プリエの説明、実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	タンデュ・デガジェの説明	各自授業内容を復習
7		講義・演習	体重移動 タンデュ→タンデュ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	片足になる パッセ	各自授業内容を復習
9		講義・演習	体重移動 タンデュ→パッセ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	ロンデジャンプ	各自授業内容を復習
11		講義・演習	ロンデジャンプ→ピケ	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエットダブルを安定させる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズ C-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。 					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	ジャズ D-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の 学習内容	基本の姿勢から始まり、ダンスの基礎を学んでいく 振りを覚える					
到達目標	正しい姿勢の理解 基礎の大切さを伝える 振りを覚え、自分なりに踊ることができる					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップ1曲目→コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップ2曲目→コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ロールアップ、ダウン、フラットバック	各自授業内容を復習
4		講義・演習	正しいプリエ パラレル ターンアウト	各自授業内容を復習
5		講義・演習	指先の正しい使い方 タンデュ デガシエ	各自授業内容を復習
6		講義・演習	パッセの説明→バランス	各自授業内容を復習
7		講義・演習	パッセのバランスからピルエット	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ロンデジャンプの説明	各自授業内容を復習
9		講義・演習	パッセとロンデジャンプからのピケターン	各自授業内容を復習
10		講義・演習	片足プリエ→体重移動	各自授業内容を復習
11		講義・演習	体重移動に気を付けながらクロスフロア	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエット、ピケシエネが躊躇なくできる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	ジャズ D-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の 学習内容	基本の姿勢の振り返り、ダンスの基礎から応用を学んでいく 振りを覚える					
到達目標	正しい姿勢の理解 基礎の大切さを伝える 振りを覚え、自分なりに踊ることができる					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップ→コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップ→コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ロールアップ、ダウン、フラットバック	各自授業内容を復習
4		講義・演習	プリエ パラレル ターンアウト	各自授業内容を復習
5		講義・演習	指先の正しい使い方 タンデュ デガシエ	各自授業内容を復習
6		講義・演習	パッセの→バランス	各自授業内容を復習
7		講義・演習	パッセのバランスからピルエット	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ロンデジャンプ	各自授業内容を復習
9		講義・演習	パッセとロンデジャンプからのピケターン	各自授業内容を復習
10		講義・演習	片足プリエ→体重移動	各自授業内容を復習
11		講義・演習	体重移動に気を付けながらクロスフロア	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエット、ピケシェネ	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	バレエA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。						
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	1年生で習得したバレエの基礎の確認	復習
2		講義・演習	軸のアンデオールの意識を高める	復習
3		講義・演習	動いている足のアンデオールを高める	復習
4		講義・演習	軸を意識し、上体や顔の付け方を学ぶ	復習
5		講義・演習	正しいアームスの使い方の必要性を学ぶ ピルエットを学ぶ	復習
6		講義・演習	ピルエットの質を高める アレグロのパを学ぶ	復習
7		講義・演習	ピルエット、アレグロをメインにした組み合わせを学ぶ	復習
8		講義・演習	アダージオの動きの流れや、上半身の使い方を学ぶ	復習
9		講義・演習	ターンの種類を知り、正しい回り方を学ぶ	復習
10		講義・演習	グランワルツ、ターンをメインにした組み合わせを学ぶ	復習
11		講義・演習	総括(アンデオールの意識を高めて楽しく踊る)	復習
12		講義・演習	実技試験のアンシエネマンを提示し、練習する	復習
13		講義・演習	試験 (2,3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)	復習
14		講義・演習	課外授業	復習
15		講義・演習	課外授業	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 なし				

科目名	バレエA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。					
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	前期で習得したバレエの基礎の確認		復習	
2		講義・演習	タンジュ、フラッペ、グランバットマンの軸のアンデオールの意識		復習	
3		講義・演習	タンジュの軸の意識を高め、上半身やアームス、顔の付け方を学ぶ		復習	
4		講義・演習	センターでのタンジュのアームス、上体の使い方を学ぶ		復習	
5		講義・演習	ピルエットの質を高める		復習	
6		講義・演習	ピルエットがメインの組み合わせを学ぶ		復習	
7		講義・演習	アレグロの種類を学び、早い動きに対応できるように学ぶ		復習	
8		講義・演習	アレグロがメインの組み合わせを学ぶ		復習	
9		講義・演習	ターンの質を高める 軸の意識を高めてアンデオールで回る		復習	
10		講義・演習	グランワルツ、ターンをメインにした組み合わせを学ぶ		復習	
11		講義・演習	総括 (アンデオールの意識を高めて、楽しく踊る)		復習	
12		講義・演習	実技試験のアンシェネマンを提示し、練習する		復習	
13		講義・演習	試験 (2,3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)		復習	
14		講義・演習	課外授業		復習	
15		講義・演習	課外授業		復習	
準備学習		時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】なし						

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	バレエB-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	エクササイズ、コンビネーション、クールダウン 全て呼吸を使って身体を動かし踊るための身体を作る。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸と連動して動けるようになる。 ・筋力と柔軟性を上げる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	呼吸を意識する		復習		
2		講義・演習	身体のアライメントを理解する		復習		
3		講義・演習	エクササイズ1つ1つ、どこを使うかを考えて動かす。		復習		
4		講義・演習	筋感覚だけに集中(形に捉われない)		復習		
5		講義・演習	筋力と柔軟性を同時に意識する。		復習		
6		講義・演習	座位、ストレッチ(股関節周り意識)		復習		
7		講義・演習	体幹トレーニング(呼吸を伴う筋トレの中で)		復習		
8		講義・演習	アイソレーション(流されず部分部分を丁寧に)		復習		
9		講義・演習	ジャンプ足上げ(効果的に行えるようにする)		復習		
10		講義・演習	ターン(重心と軸を探る)		復習		
11		講義・演習	総括(エクササイズも振りも全て呼吸)		復習		
12		講義・演習	試験(見られている意識の中で発揮できる)		復習		
13		講義・演習	振り返り		復習		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエB-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内 容	ストレッチ、パー、センター 常に呼吸を意識し、体重を感じるようにする。						
到達目標	バレエを通して、重心と軸を感じられるようになり、他のダンスにも応用できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	呼吸を意識しストレッチから			復習	
2		講義・演習	アライメントを理解し、立ち方を学ぶ。			復習	
3		講義・演習	プリエ(関節を固めない)			復習	
4		講義・演習	プリエタンデュ(体重を感じることで重心を知る)			復習	
5		講義・演習	体重移動を身につける。			復習	
6		講義・演習	正しいターンアウト			復習	
7		講義・演習	ストレッチ、パー、センターの流れを学ぶ			復習	
8		講義・演習	方向(8つの方向)を学ぶ。			復習	
9		講義・演習	ポールドブラ(基本のアームズ)			復習	
10		講義・演習	エポールマン			復習	
11		講義・演習	試験			復習	
12		講義・演習	身体を総括的に意識し動かせるように。			復習	
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。			復習	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出	
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出	
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエC-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
2		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
3		講義・演習	基礎訓練 基礎の徹底	復習
4		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
5		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
6		講義・演習	基礎訓練 振り付けの理解	復習
7		講義・演習	基礎訓練 パの意味	復習
8		講義・演習	基礎訓練 パの組み合わせ	復習
9		講義・演習	基礎訓練 音楽の理解	復習
10		講義・演習	基礎訓練 身体の理解	復習
11		講義・演習	基礎訓練 表現	復習
12		講義・演習	基礎訓練 空間の使い方	復習
13		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエC-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
2		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
3		講義・演習	基礎訓練 基礎の徹底	復習
4		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
5		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
6		講義・演習	基礎訓練 振り付けの理解	復習
7		講義・演習	基礎訓練 パの意味	復習
8		講義・演習	基礎訓練 パの組み合わせ	復習
9		講義・演習	基礎訓練 音楽の理解	復習
10		講義・演習	基礎訓練 身体の理解	復習
11		講義・演習	基礎訓練 表現	復習
12		講義・演習	基礎訓練 空間の使い方	復習
13		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエD-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内 容	基礎～応用の習得 立ち姿、手の動き、足運び					
到達目標	自身の身体と向き合い、体軸を確立 手足のスムーズな動きの習得 表現力の幅を広げる					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎確認	復習
2		講義・演習	軸と体幹の意識	復習
3		講義・演習	軸と体幹の弱点強化	復習
4		講義・演習	アンディオールを意識と体幹の連動	復習
5		講義・演習	アームス上半身の使い方と呼吸	復習
6		講義・演習	姿勢と重心移動	復習
7		講義・演習	テクニックを含めた動き	復習
8		講義・演習	ターン、ピルエットの質を高める	復習
9		講義・演習	ワルツステップの習得と応用	復習
10		講義・演習	ジャンプテクニックの質を高める	復習
11		講義・演習	コンビネーション	復習
12		講義・演習	音楽との連動	復習
13		講義・演習	アンシェヌマンを覚え、発表(テスト)	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエD-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内 容	基礎～応用の習得 立ち姿、手の動き、足運び					
到達目標	自身の身体と向き合い、体軸を確立 手足のスムーズな動きの習得 表現力の幅を広げる					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎確認	復習
2		講義・演習	軸と体幹の意識	復習
3		講義・演習	重心移動の身体の使い方	復習
4		講義・演習	アームス上半身の使い方と呼吸	復習
5		講義・演習	ターン、ジャンプテクニックの質を高める	復習
6		講義・演習	ワルツやアダージオでの連動	復習
7		講義・演習	ダイナミックな動きの練習	復習
8		講義・演習	アンシェヌマンに合わせた表現力の向	復習
9		講義・演習	音楽に合わせた緩急の使い方	復習
10		講義・演習	アレグロなどの対応	復習
11		講義・演習	ソロ ユールドでの空間の使い方	復習
12		講義・演習	バレエ作品への挑戦	復習
13		講義・演習	アンシェヌマンを覚え、発表(テスト)	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエE-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	基礎力の向上、テクニックの習得					
到達目標	表現力や魅せ方を学び、自らを表現できるようにする					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明、基礎練習	復習
2		講義・演習	ストレッチ	復習
3		講義・演習	筋力トレーニング	復習
4		講義・演習	ピルエットの練習	復習
5		講義・演習	ピルエットがシングル(ダブル)で回る	復習
6		講義・演習	シェネの練習	復習
7		講義・演習	ピケターンの練習	復習
8		講義・演習	アテチュードターンの練習	復習
9		講義・演習	ロンデジャンプの練習	復習
10		講義・演習	クロスフロアでの基本テクニック	復習
11		講義・演習	8×4のコンビネーション	復習
12		講義・演習	8×4のコンビネーション	復習
13		講義・演習	試験	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエE-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	基礎力の向上、テクニックの習得					
到達目標	表現力や魅せ方を学び、自らを表現できるようにする					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ペアテの練習	復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーション	復習
3		講義・演習	コンビネーションの復習	復習
4		講義・演習	自己アピールしながら踊る	復習
5		講義・演習	コンビネーションを早く覚える	復習
6		講義・演習	グループでの練習	復習
7		講義・演習	コンビネーションの練習	復習
8		講義・演習	間違えずに自己表現する	復習
9		講義・演習	指先や体幹の意識とコンビネーション	復習
10		講義・演習	指先や体幹の意識とコンビネーション	復習
11		講義・演習	指先や体幹の意識とコンビネーション	復習
12		講義・演習	指先や体幹の意識とコンビネーション	復習
13		講義・演習	試験	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
2		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
3		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
4		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
5		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習	
6		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
7		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
8		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
9		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習	
10		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
11		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
12		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
13		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習	
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	HIPHOP A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング						
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
2		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
3		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
4		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
5		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付		復習
6		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習
7		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習
8		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習
9		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付		復習
10		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習
11		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習
12		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習
13		講義・演習	基礎・ステップ・振付		復習
準備学習		時間外学習			
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	HIPHOP B-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	今後のレッスンの説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
2		講義・演習	レッスン説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
3		講義・演習	基本リズム②、ステップ、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
4		講義・演習	基本リズム②、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
5		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
6		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
7		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
8		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
9		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
10		講義・演習	基本リズム①～④、テクニク、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
11		講義・演習	基本リズム①～④、テクニク、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
12		講義・演習	基本リズム①～④、テクニク、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
13		講義・演習	基本リズム①～④、テクニク、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
14		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニク、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
15		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニク、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP B-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	今後のレッスンの説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
2		講義・演習	レッスン説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
3		講義・演習	基本リズム②、ステップ、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
4		講義・演習	基本リズム②、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
5		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
6		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
7		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
8		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
9		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
10		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
11		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
12		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
13		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
14		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
15		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	Freestyle 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義と演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスンの後のアフターケア
2		講義と演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
3		講義と演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
4		講義と演習	研修	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
5		講義と演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
6		講義と演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
7		講義と演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
8		講義と演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
9		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
10		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
11		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
12		講義と演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
13		講義と演習	テスト	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
14		講義と演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
15		講義と演習	イベント週	前回の復習・レッスンの後のアフターケア
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	研修	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義と演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
13		講義と演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
14		講義と演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
15		講義と演習	イベント週	前回の復習・レッスン後のアフターケア
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	コンテンポラリー3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー。経験年数30年						
授業の学習内容	動きの質を高め、アカデミックでダイナミックな動き学ぶ。メンタル面の強化のための講義等する。 (動きのクオリティーを高めるには、思考の使い方が大切です)						
到達目標	動きのクオリティーの向上を図る。メンタル面の強化を図る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART2ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニク・ジャンプ①	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
3		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
4		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
5		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
6		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
7		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
8		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
9		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
10		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
11		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力)・ストレッチ等
12		講義・演習	成長のプロセス講義(日程変更あり)	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	反省と今後の対策
15		講義・演習	イベント週	反省と今後の対策
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷/東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	コンテンポラリー4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー。経験年数30年						
授業の学習内容	骨格の在り方、姿勢、筋肉の使い方を深め、動きのと思考の連動を高める。 (骨と筋肉の連動が大切です) 振付法の講義。(振付、構成法を学ぶ事で可能性を広げる)						
到達目標	強く柔らかな身体を目指し、正しい動き方を修得する。振付の向上。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART1ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニク・ジャンプ①	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
3		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
4		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
5		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
6		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
7		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
8		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
9		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
10		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
11		講義・演習	クササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニク・ジャンプ	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
12		講義・演習	振付法の講義	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	反省と今後の対策
15		講義・演習	イベント週	反省と今後の対策
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校				

科目名	テーマパークA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	江ノ上 陽 一
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介でのアピール方法	自分の目標を確認する
2		講義・演習	ストレッチの仕方、筋肉のトレーニング方法	ストレッチ・筋トレ
3		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
4		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
5		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
6		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
7		講義・演習	基本のテクニック(ロンデジャンプ)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
8		講義・演習	基本のテクニック(アチチュードターン)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
9		講義・演習	基本のテクニック(バットマン)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	習得したテクニックをクロスフロアで行う	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×2程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	8×4程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	前週のコンビネーションを練習して試験へ
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優 & 舞台芸術専門学校

科目名	テーマパークA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ターン3(ペアテ)の方法	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	前週のコンビネーションを踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	3人ほどの小グループに分けて踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	間違えずに自分の踊りにして踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	3人ほどの小グループで自己アピールしながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	自己アピールしながら間違えずに踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介でのアピール方法	自分の目標を確認する
2		講義・演習	ストレッチの仕方、筋肉のトレーニング方法	ストレッチ・筋トレ
3		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
4		講義・演習	基本のテクニック(ターンの方法2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
5		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
6		講義・演習	基本のテクニック(シェネ・ピケターン2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
7		講義・演習	基本のテクニック(ロンデジャンプ)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
8		講義・演習	基本のテクニック(アチチュードターン)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
9		講義・演習	基本のテクニック(バットマン)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	習得したテクニックをクロスフロアで行う	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×2程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	8×4程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	前週のコンビネーションを練習して試験へ
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ターン3(ペアテ)の方法	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	前週のコンビネーションを踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	3人ほどの小グループに分けて踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	間違えずに自分の踊りにして踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	3人ほどの小グループで自己アピールしながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	自己アピールしながら間違えずに踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験(ピルエット・バットマン・コンビネーション)	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ヴォイストレーニングA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングB-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングC-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングD-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングD-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングE-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ヴォイストレーニングE-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考】				
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ダンス&ヴォーカル3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩崎 浩 太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		講義・演習	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム＋グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンス&ヴォーカル4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩崎 浩 太郎
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ					
到達目標	ヴォーカリストにとって必要な身体作り、必要なメソッドの習得、ソロアプローチ方やインプロテクニックを実践できる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践、確認動画でチェックする。
2		講義・演習	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践する。	歌唱時のフォームを意識しパフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
3		講義・演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
4		講義・演習	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践できる。	リズム+グループを意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
5		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
6		講義・演習	パフォーマンスの緩急を表現できる	パフォーマンスの緩急を表現確認動画でチェックする。
7		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
8		講義・演習	共鳴(頭部)について理解し実践できる。	共鳴(頭部)について理解し実践確認動画でチェックする。
9		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
10		講義・演習	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践できる	共鳴を意識した歌唱パフォーマンスが実践確認動画でチェックする。
11		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
12		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践確認動画でチェックする。
13		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践確認動画でチェックする。
14		講義・演習	歌唱パフォーマンスのクオリティを高める実践する	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
15		講義・演習	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを実践できる	振り返り動画でまとめ確認レポート作成
準備学習 時間外学習			ヴォーカリストとして必要なパフォーマンススキルを習得するために自習、週4Hの練習と動画チェック	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Heels 3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根 彩乃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	自分と向き合い、短所と長所を知り個性を伸ばす。						
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	ストレッチへの理解①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
2		講義・演習	ストレッチへの理解② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
3		講義・演習	筋力トレーニングへの理解①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
4		講義・演習	筋力トレーニングへの理解② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
5		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
6		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
7		講義・演習	表情をつけて表現する①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
8		講義・演習	表情をつけて表現する② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
9		講義・演習	少人数に分け、さらに自分と向き合う。		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
10		講義・演習	テスト対策①		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
11		講義・演習	テスト週		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
12		講義・演習	テストの反省		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
13		講義・演習	後期に向けて復習		前週の復習。次週に向けての自主練習。		
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	Heels 4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根 彩乃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	対応力、個性などを発揮できるように						
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	前期の復習(ストレッチ+α)	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
2		講義・演習	前期の復習(筋力トレーニング+α)	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
3		講義・演習	短所と長所への理解①	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
4		講義・演習	短所と長所への理解②	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
5		講義・演習	1,2を意識してコンビネーションの中で応用	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
6		講義・演習	個性を磨く①	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
7		講義・演習	個性を磨く②	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
8		講義・演習	応用(他のダンサーの良い所を見る)	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
9		講義・演習	振り覚え対策①	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
10		講義・演習	振り覚え対策②	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
11		講義・演習	テスト対策①	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
12		講義・演習	テスト対策②	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
13		講義・演習	テスト週	前週の復習。次週に向けての自主練習。			
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出			
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出			
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	ジャズコンテ3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシエネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シエネ→ビルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズコンテ4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺祐子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊地朝菜 橋本知佐子
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に着けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロッパ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシエネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シエネ→ビルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	SWINGBO X
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの基礎ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのベーシックなステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シャッフル・ブラッシュ・シムシヤム	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	前回の復習、スウィングの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ(トリプルまで)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	クロスフロア、スラップ、バックステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	プルバックの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ練習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	SWINGBO X
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの応用ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スウィングの強化①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	スウィングの強化②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ強化	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	ウィングのリズムでのコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	ウィングのリズムでのコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	ーン系のステップ応用、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ーン系のステップ応用、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	後期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション3(ダンス)		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日置望喜
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二		授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	ダンサーおよび指導18年							
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかり守れる人材育成。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成			筆記用具		
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成			筆記用具		
3		講義・演習	6/8,9の学祭に向けてユニット作り、自分達で作品を作り、毎週講師のHIYOがディレクションをし、手直しを行う。			踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習						
5		講義・演習						
6		講義・演習						
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに動きが無いので、トレーニング、様々なジャンルでの基礎作り、場当たり方法などレッスンする。					
8		講義・演習						
9		講義・演習						
10		講義・演習						
11		講義・演習						
12		講義・演習	ここからWe are作品作りに向けて始動					
13		講義・演習						
14		講義・演習						
15		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は臨機応変に変える場合があります。					
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	クリエイション4(ダンス)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日置望喜
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	ダンサーおよび指導18年						
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかりと守れる人材育成。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義・演習	We areに向けた正式ユニット作成		筆記用具		
2		講義・演習	We areに向けた正式ユニット打ち合わせ・実践		筆記用具		
3		講義・演習	We areに向けて ユニット作り、自分達で 作品を作り、毎週講師の HIYOがディレクションをし、 手直しを行う。		踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習					
5		講義・演習					
6		講義・演習					
7		講義・演習					
8		講義・演習					
9		講義・演習					
10		講義・演習					
11		講義・演習					
12		講義・演習	We areに向けたホールリハーサル				
13		講義・演習	および、場当たり、本番				
14		講義・演習	We areのフィードバック				
15		講義・演習	卒業後の立ち振る舞いについてレポート・ナンバー作成				
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HOUSE 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池田 卓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を正しく理解し、HIP HOPなどにも共通するリズムやアームス、ボディコントロールなどを使いこなせるようにする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HOUSEのベーシックな動き(体の止め方)を習得すること ・HOUSE特有のスピード感、タメ、止めを体現すること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎①(ベーシックムーブ)	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE基礎②(ベーシックムーブ応用)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	リズム&アイソレーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	リズム&ベーシックムーブ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	コンビネーション	各自授業内容を復習
6		講義・演習	”遊び”を混ぜる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フロアを混ぜる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アクロバットを混ぜる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHOUSEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池田 卓
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々な曲調に対応したHOUSEができるようになること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用(ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用(リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石田 創
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニクを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニクを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		演習	基本的なステップムーブの応用・実践	各自授業内容を復習
3		演習	チェアー・スピンの応用・実践	各自授業内容を復習
4		演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		演習	フリーズの種類を応用・実践	各自授業内容を復習
9		演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りといンプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石田 創
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニクを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニクを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		演習	基本的なステップムーブの応用・実践	各自授業内容を復習
3		演習	チェアー・スピンの応用・実践	各自授業内容を復習
4		演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		演習	フリーズの種類を応用・実践	各自授業内容を復習
9		演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		試験	振付けられた振りといンプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演劇ワークショップ3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲームを実施 与えられた役を演じるための準備を学び、役作りを行う 練習(稽古)と、その公演本番を経験し、俳優として必要な技術とマナーを学ぶ						
到達目標	役を正しく理解し、イメージをした演技をできるようになる。 また、演出家の求める演技をできるようになる。(ディレクションに答える) 台詞の裏側にある感情を表現できるようになる。(サブテキストに気づき、考えていくことができるようになる) 俳優に必要なコミュニケーション力・人間力を身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 目標を定める・日本語の文法を学ぶ	文法の文例を練習してくる
2		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 公演用台本配布・初見読み	台本を読めるようにしてくる(漢字・アクセント チェックなど)
3		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 前回の台本を読む・脚本解釈	本読みをしてくる・やりたい役を定める
4		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 前回の台本のキャストオーディション	本読みをしてくる・オーディションの反省をす る
5		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ キャスティング発表・本読み	自分の役の本読みとサブテキストを考える
6		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 台本の本読み	自分の役の本読みとサブテキストを考える
7		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 台本の本読み	台詞を覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	動き・演出を整理し、理解、覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳や小道具を考え、準備を進める
10		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳を決定、稽古で使用できるようにする
11		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳・小道具を準備する
12		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳・小道具を準備する
13		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 発表当日の段取り確認
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された公演台本・アクセント確認⇒アクセント辞典を使用				

科目名	演劇ワークショップ4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲームを実施 与えられた役を演じるための準備を学び、役作りを行う 練習(稽古)と、その公演本番を経験し、俳優として必要な技術とマナーを学ぶ						
到達目標	役を正しく理解し、イメージをした演技をできるようになる。 また、演出家の求める演技をできるようになる。(ディレクションに答える) 台詞の裏側にある感情を表現できるようになる。(サブテキストに気づき、考えていくことができるようになる) 俳優に必要なコミュニケーション力・人間力を身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・卒業公演稽古はじめ／台本配布	公演用稽古・練習(自主練等の段取り)
2		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・台本の本読み	公演用稽古・脚本読み
3		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・台本の本読み	公演用稽古・脚本読み
4		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・キャストオーディション	台本読み・脚本理解
5		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・キャスト発表・本読み	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
6		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・半立ち稽古	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
7		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・半立ち稽古	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・立ち稽古	動き、演出を理解し、覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・立ち稽古	動き、演出を理解し、覚える
10		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・立ち稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
11		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
12		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
13		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された公演台本・アクセント確認⇒アクセント辞典を使用				

科目名	ステージアクション1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	服部整 治
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	演劇ユニットSPIRALCHARIOTS主宰・主な殺陣経歴 SEGA原作2.5次元舞台「レンタヒーロー」「ゴールデンアックス」						
授業の学習 内容	剣等の得物を使った殺陣指導です。基本から見栄えのあるアクション。実際に殺陣シーンを作り上げるまで手をつけて、演出家の観点からも見栄えがあり、ちゃんとその殺陣を感情を乗せて演じる役者になれる授業を展開します。						
到達目標	①基本的な動きを身に着ける→②基本的な刀の振り(十手)を身に着ける→③つけられた手をすぐに体現出来るようになる→④集団の中で「からみ」と「芯」の違いをとらえる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、学習の目的説明	殺陣シーンのある映画を鑑賞する
2		講義・演習	①基本動作が出来るようになる。	部位の名称、基本型など
3		講義・演習	②基本動作が出来るようになる。	所作から十手の説明
4		講義・演習	①型からの打ち込み練習	2人組みの3手
5		講義・演習	②型からの打ち込み練習	2人組みの6手
6		講義・演習	実際の手をつける上での座学	前週の復習、イメトレ、自主トレ
7		講義・演習	①殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
8		講義・演習	②殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
9		講義・演習	③殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
10		講義・演習	④殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
11		講義・演習	⑤殺陣シーン参加出来るようになる。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
12		講義・演習	①芝居を交えて殺陣参加が出来る。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
13		講義・演習	②芝居を交えて殺陣参加が出来る。	前週の復習、イメトレ、自主トレ
14		講義・演習	テスト(実技)	内容は授業内で発表
15		講義・演習	まとめの授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージアクション2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	服部整 治
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	演劇ユニットSPIRALCHARIOTS主宰・主な殺陣経歴 SEGA原作2.5次元舞台「レンタヒーロー」「ゴールデンアックス」						
授業の学習 内容	剣等の得物を使った殺陣指導です。基本から見栄えのあるアクション。実際に殺陣シーンを作り上げるまで手をつけて、演出家の観点からも見栄えがあり、ちゃんとその殺陣を感情を乗せて演じる役者になれる授業を展開します。						
到達目標	①基本的な動きを身に着ける→②基本的な刀の振り(十手)を身に着ける→③つけられた手をすぐに体現出来るようになる→④集団の中で「からみ」と「芯」の違いをとらえる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用①	殺陣シーンのある映画を鑑賞する
2		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用②	部位の名称、基本型など
3		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用③	所作から十手の説明
4		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用④	2人組みの3手
5		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑤	2人組みの6手
6		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑥	前週の復習、イメトレ、自主トレ
7		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑦	前週の復習、イメトレ、自主トレ
8		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑧	前週の復習、イメトレ、自主トレ
9		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑨	前週の復習、イメトレ、自主トレ
10		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑩	前週の復習、イメトレ、自主トレ
11		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑪	前週の復習、イメトレ、自主トレ
12		講義・演習	芝居を交えて殺陣参加 応用⑫	前週の復習、イメトレ、自主トレ
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	まとめの授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アニソンゼミ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。歌唱指導30年						
授業の学習 内容	アニソンを文化ととらえ、これからどう歌っていくかを求められるかを追求し、アーティストとしての自分を研究し、各自選曲、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現・ステージング等)をレクチャーする。 アーティストとしての自身の方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースも学ぶ。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持ったパフォーマーになれる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、ライブを行い、動員・内容共に成功を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アニソン文化の流れ、ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしてくる
7		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
8		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
9		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ 本番	ライブを通じて、後期に向けた課題を探す
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、ポータブルスピーカー、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具				

科目名	アニソンゼミ2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。歌唱指導30年						
授業の学習 内容	アニソンを文化ととらえ、これからどう歌っていくかを求められるかを追求し、アーティストとしての自分を研究し、各自選曲、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現・ステージング等)をレクチャーする。 アーティストとしての自身の方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースも学ぶ。 また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性をもったパフォーマーになれる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、ライブを行い、動員・内容共に成功を目指す。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンが見えていと、尚良い。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アニソン文化の流れ、ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしてくる
7		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
8		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
9		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ 本番	ライブを通じて、卒業後に向けた課題を探す
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、ポータブルスピーカー、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具				

科目名	司会・アナウンス1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真実
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーション専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティ、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 女優18年						
授業の学習内容	声やトーク力を必要とする仕事全般(DJ・MC・レポート・ナレーションなど)に対応するテクニックやスキルを学ぶ						
到達目標	各種声やトーク力を必要とする案件に自信を持って取り組めるスキルを自主的に学びとれるようになり、自身のスキルとして身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明	
2		講義・演習	「アイテム紹介」3分フリートーク① トークの内容について学び、作成、披露する	課題に合わせたトークを考える
3		講義・演習	「アイテム紹介」3分フリートーク② 前週に考えた内容について、設定を付け披露する	課題に合わせたトークを考える
4		講義・演習	「商品紹介」3分フリートーク① 商品内容について調べ、原稿を作成、披露する	課題に合わせたトークを考える
5		講義・演習	「アイテム紹介」3分フリートーク② 前週に考えた内容について、設定を付け披露する	課題に合わせたトークを考える
6		講義・演習	「グループトーク」告知① トークの内容について学び、作成、披露する	課題に合わせたトークを考える
7		講義・演習	「グループトーク」告知② 前週に考えた内容について、設定を付け披露する	課題に合わせたトークを考える
8		講義・演習	「グループトーク」告知③ 前週の内容について、カメラ前でのグループトークを実施する	課題に合わせたトークを考える
9		講義・演習	「アナウンス」影アナウンス 原稿を配布、初見読み、原稿の読み方を学ぶ	原稿下読み
10		講義・演習	「アナウンス」ニュース原稿① 原稿を配布、初見読み	原稿下読み
11		講義・演習	「アナウンス」ニュース原稿② カメラ前での表現の仕方について学ぶ	原稿下読み
12		講義・演習	テーマに合わせたフリートーク3分(テスト)	トーク内容を考える
13		講義・演習	前期授業内容振り返り 後期に向けての個々の課題を知り、どうしたら活かせるかを考える	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された原稿・筆記用具・タイムウォッチ				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	司会・アナウンス2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真実
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティ、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 女優18年						
授業の学習内容	声やトーク力を必要とする仕事全般(DJ・MC・レポート・ナレーションなど)に対応するテクニックやスキルを学ぶ						
到達目標	各種声やトーク力を必要とする案件に自信を持って取り組めるスキルを自主的に学びとれるようになり、自身のスキルとして身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「レポート」地元紹介① 5分間のレポート内容の概要について	レポートする場所の下調べ
2		講義・演習	「レポート」地元紹介② 下調べしてきた内容を利用して2分間のレポートを披露	レポートする場所の資料集め・原稿作成
3		講義・演習	「レポート」地元紹介③ 作成した原稿を利用して5分間のレポートを披露	レポートする場所の資料集め・原稿作成
4		講義・演習	「レポート」地元紹介④ 原稿を利用してさらに内容の濃い5分間のレポートを披露	レポートする場所の資料集め・原稿作成
5		講義・演習	「インタビュー」① インタビューとは 5分間インタビューを実施する	インタビュー内容の作成
6		講義・演習	「インタビュー」② 準備してきたインタビュー内容の実践	インタビュー内容の作成
7		講義・演習	「MC」イベント① MCとは イベントにおけるMCの役割について	原稿下読み
8		講義・演習	「MC」イベント② 原稿内容をお客様に伝え、スムーズに進行することとは	原稿下読み
9		講義・演習	「MC」式典① MCとは 式典におけるMCの役割について	原稿下読み
10		講義・演習	「MC」式典② 原稿内容をお客様に伝え、スムーズに進行することとは	原稿下読み
11		講義・演習	「MC」式典③ イベントと式典におけるMCの違いについて	原稿下読み
12		講義・演習	イベントをイメージしたフリートークの実践(テスト)	トーク内容を考える
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	前期授業内容振り返り／卒業後現場に出るに当たり、個々の課題を知り、どうしたら活かせるかを考える	
準備学習 時間外学習			課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された原稿・筆記用具・タイムウォッチ				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	ナレーション3	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ナレーションとは何かのレクチャー、生徒の自己紹介など	自身の読みたい作品を2つ、次回提出
2		講義・演習	教材と生徒が選んできた作品を統合し、ナレーション演習	自身が選択した作品の読みこみ
3		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける① 発声滑舌に気を付けて読む	自身が選択した作品の読みこみ
4		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける② 他人のダメ出しを自分のものにする	自身が選択した作品の読みこみ
5		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける③ 強調する箇所とその効果	自身が選択した作品の読みこみ
6		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける④ 起承転結の表現について	自身が選択した作品の読みこみ
7		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑤ 作品の前後間を考える	自身が選択した作品の読みこみ
8		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑥ 他人の原稿を聞き、良い点を自分に反映させる	自身が選択した作品の読みこみ
9		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑦ 改めて発声滑舌について気を付けて発表をする	自身が選択した作品の読みこみ
10		講義・演習	全受講生が二回ずつ演習とアドバイスを受ける⑧ タイトルの重要性	自身が選択した作品の読みこみ
11		講義・演習	演習、アドバイスを各々の課題に向かい、録音テスト① マイクワークを学ぶ	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を聞いてみる
12		講義・演習	演習、アドバイスを各々の課題に向かい、録音テスト② マイクを通して演じられた自分のナレーションを客観的に判断	自身が選択した作品の読みこみ 録音した音源を視点を上げ聞いてみる
13		講義・演習	テストを経て、各生徒にレクチャーとヒアリングを行う	後期に向けた、自身の課題に気づく
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	ナレーション4	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	長谷川歩
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優、演劇大学を経て声優・ナレーターとして活動。劇団主宰もしており演出、執筆経歴もあり。芸歴23年						
授業の学習 内容	正しい日本語を学び、ナレーション原稿を読むことで、原稿の意図や自己演出で試行錯誤する。CM、ラジオCM、バラエティ、ドキュメント、ニュース、吹き替え、朗読など多岐に渡るナレーションの模擬演習を行い、適性やチャレンジ精神を育みます。						
到達目標	正しい日本語の基礎、文章の読解力、演技力を用いて、自分の声質やパーソナリティを含んだ適性を掴めるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「架空のラジオCM」を作成するためエチュードを行う	題材についてヒアリング
2		講義・演習	エチュードを元に原稿作成① グループで話し合う	どんなCMにするか話し合う
3		講義・演習	エチュードを元に原稿作成② 話し合った内容の起承転結を考える	プロットを描く
4		講義・演習	エチュードを元に原稿作成③ 演じるキャラクターとナレーション部を考える	台本を完成させる
5		講義・演習	原稿を用いキャストし録音、演出指導。① 録音したCMを聞き、改良点を話し合う	収録音源を聞く
6		講義・演習	原稿を用いキャストし録音、演出指導。② 聞き手にわかりやすく伝わる表現について考える	収録音源を聞き、チームでディスカッション 収録に向けて準備をする
7		講義・演習	録音、編集① 編集されることを考えた収録について	収録に向けて準備をする
8		講義・演習	録音、編集② 短い時間で高いクオリティのCMを収録するためには	収録で感じたことを踏まえ、現在放送されているラ ジオCMを聞く
9		講義・演習	録音し編集した完成パッケージを視聴しヒアリング	聴いた音源に対して客観的に修正点を理解できる ようになる
10		講義・演習	映像に当てるナレーションの講義、題材紹介	映像とラジオCMの違いについて学び、実際 の映像を見、研究する
11		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習① あらゆるナレーションにチャレンジ	状況に応じたナレーションの違いに気づく
12		講義・演習	映画予告、ドキュメント、ニュース、バラエティなど演習② 自分に適性の高いナレーションを知る	状況に応じたナレーションの違いに気づく
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	各ジャンルを演習しての総括、質疑応答など	自身の適正に気づき、2年生に向けチャレ ンジしたいジャンルを絞り込む
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
指定されたナレーション原稿、朗読台本を用意すること				

科目名	発声滑舌	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。教員歴8年					
授業の学習 内容	身につけた発声・滑舌を元実践的なオーディション原稿を使つての演習と講義を行います。 現場に出ても技術を研鑽し続けられる精神力を鍛えます。					
到達目標	表現力の向上、他人の良いところを盗み、悪いところを自身の技術向上に役立てるように反映させられるようになる。 声優プロダクションへの所属を目指す。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	発声・滑舌のおさらい。 1年次の復習 腹式呼吸や滑舌練習、外郎売など	滑舌を意識した外郎売の練習
2		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ1 ボイスサンプル課題について考えてみる	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
3		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ2 自分に合うキャラクターとその発声	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
4		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ3 他人の演習から、自分のキャラクターをつかむ	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
5		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ4 所属を希望する事務所に合わせたボイスサンプルについて	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
6		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ5 ナレーション原稿に必要な発声滑舌	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
7		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ6 企業課題へのアドバイス	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
8		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ7 企業課題でのフィードバックを踏まえた練習法	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
9		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ8 初見読みについて	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
10		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ9 初見読み実践	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
11		講義・演習	テスト。セリフや詩などの原稿を当日配布。自分なりに解釈して披露。	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
12		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ10 初見読みを通じ、自身の弱点を知る	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
13		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ11 後期に向けた課題	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			腹式呼吸。滑舌練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	演技	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	シェイクスピア=難しいという概念を崩せるように、シアターゲーム等の必要なウォーミングアップを行いつつ、「ロミオとジュリエット」で有名なバルコニーのシーンを演習します。 シェイクスピア作品は当時の「大衆演劇」。なんでもありと行っていい。 自分の言葉で生き生きと楽しめるよう、レッスンを行っていく。						
到達目標	与えられたセリフを「自分の言葉」のように、実感を持ってしゃべることができるようになる。 その場で本当に「生きる」ことができるようになり、その上で、相手(共演者)との関係を成立させることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シェイクスピアの時代と作品の解説 テキスト読み合わせ	台本を読み、セリフを練習してくる
2		講義・演習	テキスト(ロミオとジュリエット)作品解説 台詞分割	台本を読み、セリフを練習してくる
3		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読 み合わせ	台本を読み、セリフを練習してくる 自分の言葉になるように練習する
4		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読 み合わせ/リラックスして自分の言葉で	台本を読み、セリフを練習してくる サブテキストを考え、まとめてくる
5		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読 み合わせ/サブテキストを意識	台本を読み、セリフを練習してくる サブテキストを考え、さらに演技を深める
6		講義・演習	1対1でそれぞれで練習 相手との関係を成立させる	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
7		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
8		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
9		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
10		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
11		講義・演習	1組ずつ発表 ※テスト・成績つける	発表の際の反省点を見つめ、さらに何ができ るか、台本を読み、セリフ練習
12		講義・演習	1組ずつ発表	自主練
13		講義・演習	1組ずつ発表	自主練
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された台本(シェイクスピア作「ロミオとジュリエット」ちくま文庫・松岡和子訳)				

科目名	アフレコワークショップ 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	アニメーションやゲーム、声優のマイク前でのアテレコ演習を行い、マイク前での演技や環境、マイクワークを体感する。 毎回異なる台本、アニメーションを使用し、実際にアフレコ演習を行う。 声優として必要な、収録現場での立ち振る舞いや好感度について学ぶ。						
到達目標	声優としての表現の探求、マイク前での発声を学ぶことができる。 そのためのトレーニングの指示。 自分が持っている声の性質、心の性質について発見し、自己研鑽ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の進め方、説明。オーディション 自分についてどれだけ理解し、表現できるか	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
2		講義・演習	オーディション作品のアフレコ演習 自己評価と他己評価について	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
3		講義・演習	アフレコ演習1 セリフ、マイクワークを理解し、台本を読解する	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
4		講義・演習	アフレコ演習2 スタジオマナー・演出に対しての態度など、基本的なマナーについて	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
5		講義・演習	アフレコ演習3 演出に対しての瞬発力を養う	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
6		講義・演習	アフレコ演習4 演出を理解して、瞬発力とともに対応する力を養う	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
7		講義・演習	アフレコ演習5 大人数でのアテレコ演習	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
8		講義・演習	アフレコ演習6 音響監督と声優	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
9		講義・演習	アフレコ演習7 演じ分けとマイクワーク	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
10		講義・演習	アフレコ演習8 台本を深く読み込む マイクワークを身につける	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
11		講義・演習	アフレコ演習9 実践を通じてマイク前での表現技法を覚える	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
12		講義・演習	アフレコ演習10 実践を通じて、アテレコ表現をさらに学ぶ	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
13		講義・演習	アフレコ演習11、振り返り、総括 ディレクションに対しての瞬発力を試す	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			プロ同様のスケジューリング(1週間～2日)で原稿配布・キャストイングを発表。プロの現場と思って、各自予習と準備をすること	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本を各自用意(キャストイング発表と共に、教室へ自主的に取りに行く)				

科目名	アフレコワークショップ 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	アニメーションやゲーム、声優のマイク前でのアフレコ演習を行い、マイク前での演技や環境、マイクワークを体感する。 毎回異なる台本、アニメーションを使用し、実際にアフレコ演習を行う。 声優として必要な、収録現場での立ち振る舞いや好感度について学ぶ。						
到達目標	声優としての表現の探求、マイク前での発声を学ぶことができる。 そのためのトレーニングの指示。 自分が持っている声の性質、心の性質について発見し、自己研鑽ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アフレコ演習1 自分についてどれだけ理解し、表現できるか	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
2		講義・演習	アフレコ演習2 アフレコ関係者への立ち振る舞い(好感度について)	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
3		講義・演習	アフレコ演習3 自己評価と他己評価について	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
4		講義・演習	アフレコ演習4 演出に対する瞬発力と応用力	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
5		講義・演習	アフレコ演習5 自分が「演じられるキャラクター」と「演じたいキャラクター」の違い	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
6		講義・演習	アフレコ演習6 「演じられるキャラクター」を極める	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
7		講義・演習	アフレコ演習7 感情解放とマイクワーク	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
8		講義・演習	アフレコ演習8 音響監督と声優 共演者とのコミュニケーション	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
9		講義・演習	アフレコ演習9 作品について調べ上げ、セリフ一つ一つにこだわる	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
10		講義・演習	アフレコ演習10 視聴者を意識する	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
11		講義・演習	アフレコ演習11 間について考える	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	アフレコ演習12 声で共演者の芝居を感じる 壊す勇気と貫く勇気	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
15		講義・演習	アフレコ演習13 振り返り、総括	
準備学習 時間外学習			プロ同様のスケジュール(1週間～2日)で原稿配布・キャストイングを発表。プロの現場と思って、各自予習と準備をすること	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本を各自用意(キャストイング発表と共に、教室へ自主的に取りに行く)				

科目名	洋画ワークショップ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦敏昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア及びPAエンジニア歴30年 ナレーター声優歴20年 DA講師歴8年						
授業の学習 内容	外国映画の吹き替えをスタジオで学習します。プロの現場では、役者が喋る英語の口動きに合わせて日本語のセリフを当てるという高度なテクニックをが要求されます。この授業では「タイタニック」や「ターミネーター」、「トイストーリー」などメジャーな作品を教材として使い、様々な吹き替えテクニックを身につけます。						
到達目標	台本の読解力を身につけ、キャラクターの設定ができるようにする。口の動きや役者の芝居に合わせた演技ができる。ナレーションブースでの2マイク、4マイクのフォーメーションを習得する。オンマイクとオフマイク、芝居の距離感をマスターする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「タイタニック」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
2		講義・演習	「タイタニック」 その2 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
3		講義・演習	「タイタニック」 その3 2マイク 演技力	演技の復習 次回の台本読み
4		講義・演習	「レゴシティー」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
5		講義・演習	「レゴシティー」 その2 4マイク マイクワーク	演技の復習 次回の台本読み
6		講義・演習	「レゴシティー」 その3 4マイク 芝居の距離感	演技の復習 次回の台本読み
7		講義・演習	「ターミネーター」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
8		講義・演習	「ターミネーター」 その2 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
9		講義・演習	「ターミネーター」 その3 2マイク 演技力	演技の復習 次回の台本読み
10		講義・演習	「サイドウェイ」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
11		講義・演習	「サイドウェイ」 その2 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
12		講義・演習	「サイドウェイ」 その3 2マイク テスト課題発表	演技の復習 テスト課題練習
13		講義・演習	期末テスト 前期授業のまとめ	試験内容復習
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表

準備学習 時間外学習

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	洋画ワークショップ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松浦敏昭
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	レコーディングエンジニア及びPAエンジニア歴30年 ナレーター声優歴20年 DA講師歴8年						
授業の学習 内容	外国映画の吹き替えをスタジオで学習します。プロの現場では、役者が喋る英語の口動きに合わせて日本語のセリフを当てるという高度なテクニックが要求されます。この授業では「タイタニック」や「ターミネーター」、「トイストーリー」などメジャーな作品を教材として使い、様々な吹き替えテクニックを身につけます。						
到達目標	台本の読解力を身につけ、キャラクターの設定ができるようにする。口の動きや役者の芝居に合わせた演技ができる。ナレーションブースでの2マイク、4マイクのリコーデーションを習得する。オンマイクとオフマイク、芝居の距離感をマスターする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「バック・トゥー・ザ・フューチャー」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
2		講義・演習	「バック・トゥー・ザ・フューチャー」 その2 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
3		講義・演習	「バック・トゥー・ザ・フューチャー」 その3 2マイク 演技力	演技の復習 次回の台本読み
4		講義・演習	「ストレッチ・アームストロング」 その1 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
5		講義・演習	「ストレッチ・アームストロング」 その2 4マイク マイクワーク	演技の復習 次回の台本読み
6		講義・演習	「マトリクス」 その1 4マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
7		講義・演習	「マトリクス」 その2 2マイク キャラクター設定	演技の復習 次回の台本読み
8		講義・演習	「トイストーリー」 その1 2マイク オンマイクとオフマイク	演技の復習 次回の台本読み
9		講義・演習	「トイストーリー」 その2 2マイク 演技力	演技の復習 次回の台本読み
10		講義・演習	「トイストーリー」 その3 4マイク テスト課題発表	テスト課題 練習
11		講義・演習	期末テスト 前期授業のまとめ	試験内容復習
12		講義・演習	2年生のみ 自宅録音のプロセス	録音環境の復習
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ゲーム ナレーション1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優歴31年。講師歴9年。						
授業の学習 内容	実際に現場で使われた台本を使用し、表現者としてプロダクションに所属できるようになる。						
到達目標	ナレーション台本、ゲーム台本、台詞台本など実践で役に立つ素材で、表現力を身に付けるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	外学習(学習課題) 準備学習 時間外
1		講義・演習	授業説明。授業内容を理解できる。	
2		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本1。正しいアクセントで発音できる。	アクセント辞典を引き復習する
3		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本2。脚本解釈ができる。	役の心情を想像する
4		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本3。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
5		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本4。脚本解釈ができる。	役の心情を想像する
6		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本5。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
7		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本6。脚本解釈ができる。	役の心情を想像する
8		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本7。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
9		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本8。脚本解釈ができる。	役の心情を想像する
10		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本9。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
11		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本10。脚本解釈ができる。	役の心情を想像する
12		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本11。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。
13		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本12。成果発表。聞き手に感情を伝える事ができる。	役の心情を想像する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			前回までのアドバイスを踏まえ復習	
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典				

科目名	ゲーム ナレーション1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・ 演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優歴31年。講師歴9年。						
授業の学習 内容	卒業を控え、より良い進路が決まるように、表現力を更に高める。						
到達目標	ナレーション台本、ゲーム台本、台詞台本など実践で役に立つ素材で、表現力を身に付けるようにする。プロダクション所属。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	学習(学習課題) 準備学習 時間外
1		講義・演習	授業説明。授業内容を理解できる。	配布台本を読み込み復習
2		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本1。脚本解釈ができる。	役の心情を想像し、演技プランを作る
3		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本2。聞き手を意識しながら台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
4		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本3。脚本解釈ができる。	役の心情を想像し、演技プランを作る
5		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本4。聞き手を意識しながら台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
6		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本5。脚本解釈ができる。	役の心情を想像し、演技プランを作る
7		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本6。聞き手を意識しながら台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
8		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本7。脚本解釈ができる。	役の心情を想像し、演技プランを作る
9		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本8。聞き手を意識しながら台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
10		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本9。。脚本解釈ができる。	役の心情を想像し、演技プランを作る
11		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本10。聞き手を意識しながら台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む
12		講義・演習	ナレーション、ゲーム台本11。成果発表。聞き手を豊かな表現力で引き込む事ができる。	役の心情を想像し、演技プランを作る
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			前回までのアドバイスを踏まえ復習	
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典				

科目名	紙芝居3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をすることが出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	喜怒哀楽(感情コントロール)	次週課題について予習する
2		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放1 元気よく演じる	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現を考え練習する
3		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放2 キャラの使い分けを実践する	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現を考え練習する
4		講義・演習	グループ紙芝居① 担当割を決め、子供たちに伝わるトーンで演じる	課題練習
5		講義・演習	グループ紙芝居② 身体を使って表現すること、自由な発想について	課題練習
6		講義・演習	グループ紙芝居③ チームでテーマを決め、共有する	課題練習・アイデアを盛り込む
7		講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団/倉嶋らむね)	ディレクションを受け、改善してみる
8		講義・演習	一人で紙芝居① ナレーション部分とセリフ部分の使い分け	課題練習
9		講義・演習	一人で紙芝居② 表現を「発散」すること	課題練習
10		講義・演習	一人で紙芝居③ 自分も楽しく、お客さんも楽しく	課題練習・アイデアを盛り込む
11		講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団/倉嶋らむね)	ディレクションを受け、改善してみる
12		講義・演習	一人で紙芝居④ 発表 クラスメイトの発表を聞き、いいところを盗む	課題練習
13		講義・演習	一人で紙芝居⑤ 発表 振り返り、総括	ディレクションを受け、改善してみる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習		幼稚園・児童館等へ実習に行く可能性があります		
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、メモ、筆記用具				